



來に本日度丁。るあで告廣出賣の店服吳丸大たし用使に年一十四
たし用利に告廣を「トフタ」と「アイラフ」た居て

文藝百科全書 隆文館
法律大辭典 郁文舎
大日本人名辭書 經濟雜誌社
國民百科辭典 富山房
日本百科大辭典 三省堂
國史大辭典 吉川弘文堂

尙右辭典の販賣に範を示した丸善は、英和工學辭典を賣出し又四十二年の十一月には「センチユリー大字典」を賣出して、又復センセーションを廣告界に與えた。

出版界は辭書の發行において右の如く大飛躍を爲したが、此他審美書院は、正倉院御物圖譜東瀛珠光（豫約價百圓）の大事業を發表し、吉川弘文館は、神宮司廳御藏版古事類莊の豫約出版を爲した。又國華社は發行美術書全部に亘り一頁廣告を以て宣傳した。

電通の二頁懸賞聯合廣告 四十一年八月に電通は二頁つゞきの聯合廣告を出した。懸賞附のもので、その懸賞に當選したものは、當選者の紋章附銀盃を與えるものであつた。一等は直徑三寸五分と言ふものであつた。二頁つゞきの聯合廣告は、代理業者としては初期のものであつた。

自清自實に及はず
丹波榮博士の嚴格なる監督の下に
衛生試験所が毎日に施したる封緘と
田原榮博士の分發表により其品質
の確實なるを知られたし

キリンポルト

（冷酒の要酒）

秋は高く黒ビールの時季は來れり
酒精分は普通麥酒より少く甜甘味を
帯び風ゴクに富む純正ミュンシナ
獨特の風味はキリンビールに在り

キリン黒ビール

（冷酒の要酒）

名上は酒を飲む
清酒中絶對に肉體を益せざる事
終始一貫して言明するものは或り
が特製月桂冠燻酒あるのみ

特製月桂冠燻酒

（冷酒の要酒）





賣發屋治明社會式株

「明治屋」の大正九年における正型的圖案の一頁廣告

酒の司

於第二回化學工業博覽會
名譽大賞牌受領



本火樽圍初積入津

總店 長部文次郎
支店 中井酒造店

醸造元 兵衛酒造株式會社
發賣元 東京市京橋區長部町

「銘酒大關」の大正十五年における廣告



お酒は！

大關

大關酒造株式會社
東京市京橋區長部町

清酒「大關」の廣告 昭和四年

大關ポケット壺



御散策にお花見に

一本定價 金四拾五錢

ウキスキー瓶まがいの清酒「大關」ポケット壺賣出の廣告 昭和三年

普選 絕對に對 防腐劑を含まず

酒界の普選に當選せるものは
特製 月桂冠 譽詰なり



候補者

宮内省御用達 會社 明治屋發賣

Q-64

昭和三年に行はれた普選をスローガンとして「月桂冠」の廣告

「明治屋」の「ビール」の廣告、極めてしやれた圖案である 大正九年

お父様は何のビールがお好ですか？




麒麟ビール

明治屋

麒麟ビール 横濱本工場復興

最古の歴史

最新の設備



發賣元 明治屋

震災で破壊された「麒麟ビール」横濱本工場復興の廣告 大正十五年

年表

明治四十三年―四分利整理公債發行され内債借換を行はる。金利界の革命と稱さる。經濟界好轉す。森永製菓株式會社設立鬼怒川水力電氣株式會社設立。下關に九州沖繩八縣聯合共進會開催紅葉屋商會設立東京。大北電信會社より對馬釜山間の海底電線を買収。韓國を朝鮮と改稱。明治四十四年―關稅改正保護貿易政策採用さる。國産品擡頭す。田原良純、テロドトキシンに關する特許を獲得。鈴木梅太郎、ヱイタミンBに關する特許を獲得。廣告物取締法公布。福壽火災保險株式會社設立名古屋。日本徴兵保險株式會社設立。米價騰貴、細民窮乏、外米賣出。

廣告統計

年次	廣告總行數		地域	藥品	合計	前年ニ比		化粧品	合計	前年ニ比		圖書	合計	前年ニ比	
	較増減歩	合				較増減歩	合			較増減歩	合			較増減歩	合
明、四三	二七、〇五四	△減	東京	一、三八二	一、〇三四	△減	一、二六二	二、九八	三、二一〇	一六、九	△減	一、二六二	二、九八	三、二一〇	一六、九
明、四四	三〇、七三五	△増	大阪	八四二	四、八八三	△増	二、三〇	七四三	三、六二二	三〇、九	△増	一、六五〇	二、九八	三、二一〇	一六、九
			東京	一、三一三	一、三一三	△増	一、三一三	一、三一三	四、九二二	三五、九	△増	一、二二一	二、八六	三、三六二	四、七
			大阪	八五九	五、九〇九	△増	二、一〇	八八三	四、九二二	三五、九	△増	一、八五五	二、八六	三、三六二	四、七
			地方	三、七三七	二、七二八	△減	一、七三六	一、七三六	一、七三六	四、〇〇	△減	一、三〇一	一、三〇一	三、三六二	四、七
明、四五	三三、四七二	△増	東京	一、四二〇	五、二二七	△増	一、〇〇七	一、〇〇七	六、八九七	四〇、〇	△増	一、三〇一	一、三〇一	三、三六二	四、七
			大阪	八八〇	九、〇一九	△増	一、〇〇七	一、〇〇七	六、八九七	四〇、〇	△増	一、三〇一	一、三〇一	三、三六二	四、七
			地方	六、七一九	四、一五四	△減	四、一五四	四、一五四	二、〇三九	一、〇	△減	二、〇三九	二、〇三九	一、〇	一、〇

東日、大毎の手に歸す

明治四十四年三月一日より、東京にて發行されて居た「東京日日新聞」は、大阪毎日新聞の手に歸した。同時に「大毎」の手にて經營されて居た「毎日電報」は、消滅をした。

狂奔する薬粧品の
大廣告

化粧品廣告四十二年に倍餘
加す

四十三年は、韓國併合の年であつた。そのため廣告界にも多少併合景氣が現はれた。尙此年代特筆すべきは、大型廣告の間斷なく出現しかけたことである。殊に薬粧品界に在つては、「ミツワ石鹼」、「クラブ洗粉」等出現のため、その傾向最も甚しく、大型廣告より、大型廣告へと奔り、殆



大坂新聞の新聞に廣告を以て載せられた「歯磨」の廣告。此西洋美人の顔が甚く効果的であつた。四十五年頃。

んど無限的にその大なることを要求した傾があつた。新聞の紙面に大型広告が少しく影を潜めたかと思ふと、間もなく又その平靜を破つて誰か大型廣告を出す。すると恰もそれに驚かされたようにして、又復間斷なく大型廣告が出た。此くして此年代は化粧品界を中心とした絢爛たる大型廣告時代を繼續した。之を廣告統計において見ると、明治四十二年における化粧品行數は二百七十六萬四千行であつたものが、四十三年には三百六十二萬一千行、四十四年には四百九十二萬二千行、四十五年には六百八十九萬七千行と二倍を超過するの鰻登りを示したのである。如何に化粧品の廣告が旺盛であつたかを想像することが出来る。併し四十五年には國民として最大最高の悲痛事明治天皇の崩御に遭遇するあり、世は凡て一時に諒闇の時代に沈淪してしまい。世の中の景氣も、新聞の廣告面も全く黒色を以て掩はれてしまつた。此くして明治の時代は永遠に去つて、大正の時代に移つたのである。

ミツワ石鹼賣出さる

此年「ミツワ石鹼」の丸見屋から賣出され大廣告を以て、ぐんぐん進出したことは、化粧品界にとりての一大記録であつた。即ち石鹼と言へば殆んど花王石鹼が代表して居り、花王石鹼獨歩の時代に對し、ミツワ石鹼が衝動的に進出したからである。

丸見屋は、それまで單に伊東胡蝶園の製品販賣問屋として存在して居るに過ぎなかつた。それが自家製品としての「ミツワ石鹼」を賣出したのである。そこにも化粧品界の衝動があつた。そして此丸見屋の一大進出をして成功せしめた人は、波多海藏氏であつた。波多氏は從來と全く趣を異にした大廣告戦と、又更に特異なる廣告戦術を以て、ミツワ石鹼の賣擴めに成功せしむると共に、化粧品界の廣告を

リードしたものであつた。波多氏を以て廣告界の大先達なりとし、大御所なりとし、大恩人なりとする又決して偶然でない。尠くとも氏は我新聞廣告界に一大革命を與えた斯界の巨人である。

廣告王國丸見屋創生時代

福岡日日新聞社副社長 原田徳次郎氏

ミツワ石鹼の發賣は、明治四十三年の三月であつたが、それまでは丸見屋は單に伊東胡蝶園の製品販賣問屋として知られて居たのみ。普通の化粧品問屋に過ぎなかつた。それがミツワ石鹼の賣出しによつて、始めて全国的に喧傳された。

支配人の波多君はその當時は丸見屋の波多君といふより、保善堂の坊ちゃんと言つた方が通りがよい位であつた。此保善堂と言ふはその頃南佐柄木町に店があつて花王散齋みかきの本舗であり、今で言ふ小林ライオンと言ふところ。併し波多君の丸見屋入りと共に、此店はたゞまれてしまつた。此保善堂の看板には橋本雅邦が美人畫を書いて居ると言ふので、非常に有名であつた。

丸見屋では、ミツワ石鹼發賣と共に、大々的に新聞廣告をすることになり、波多君自ら全國を駆けめぐつて、廣告の契約にあつた。福日では最初六十段の廣告をした。六十段と言へば當時の八頁である。他の廣告はまたミツワの廣告に壓倒されてしまつた程があつた。

ところが、廣告はどしどしするが品物は一向に化粧品店に來て居ない。要するに丸見屋ではウンと廣告して潜在的知識を民衆に植え附け、そうしておいて、品物を供給する手段に出たのだ。

此戦術は非常に中つて後には此戦術を模倣する化粧品が多くなつて來た。何と言つても新聞廣告を利用して成功した人は波多君であり、又化粧品廣告の開祖とも言ふべき人は此波多君であつた。

「クラブ」の新製品

此年代「クラブ」レイト「御園化粧品」「ライオン」等の廣告戦は前にも劣らざる猛烈なるものがあつた。四
十三年に「ライオン」が珍らしくも相撲の寫眞を取入れ、その談話を利用しての廣告を掲載した。「クラブ」



小林富次郎商店の「萬歳齒磨」發賣廣告 = 十四年三月 =

して宣傳に努めた。尙四十三年には「クラブ」は村井荳齋尾崎東京市長夫人林田龜太郎夫人等を拉えて、
之に「クラブ」の禮讚談話をさせ、平尾商店や、丸見屋の俳優利用宣傳の向ふを張つた。

四十二年に新聞廣告を利用して「クラブ新聞」と言ふ欄を設けたが、改めて「クラブ畫報」とした。四十四
年十一月二日には遂に歌
舞伎座を買切つて「クラブ
デー」を催ふし、他の化粧品
のやつて居る劇場への突
進仲間入りをした。

「レイト」劇場 に猛進

「レイト」では四十三年に
「平尾レイト會」を作り、觀劇
者に對し、出演俳優愛用の
化粧品を贈呈すると、レ
イト化粧品を贈呈する等、
容易ならざる宣傳方法を
とつた。又平尾分店では
「菊の露白粉」と言ふを製出
日に開場されたのであつた。帝劇開場と共に、梅幸會は扇會と言ふに改め、而して出場俳優は「御園化粧



明治二十四年頃における「都の花石」の廣告
此時代「都の花石」の全盛時代であつた。

して賣出した。又「日」にやけぬ
美顔料「ラヂウム」なるものも
賣出された。尙平尾銑也商店
から此年代賣出された。「煉香
油パール」は所謂「ボマード」であ
り、その「ボマード」の初期に屬す
るものであつた。兎に角「レ
イト」の俳優なり、劇場なりと提携
結合しての宣傳はいよゝゝ目
ざましさを來した。尙「レイト」は
四十三年空瓶景品宣傳販賣を
廣告した。

帝劇と「御園化 粧品」

帝國劇場は四十四年三月一



頃年五十四
「ルーヨツ」の
告廣の

「ライオン」慈善券十三萬圓

「ライオン歯磨」は、此年明治三十四年より同四十三年に至る慈善券について統計的の一頁廣告を爲した。之によると右十年間の賣上數量は壹億三千萬袋であり、此慈善券金額十三萬圓の巨額に達して居る。その逐年統計は左の如くである。

ライオン歯磨

慈善券附小袋入滿拾ヶ年間發賣

(自明治三十四年一月至同四十三年十二月)

壹億參千四百六拾參萬六千百貳拾六袋

右記ライオン齒磨慈善券附小袋入賣捌數に對する慈善券總金額
一金拾參萬四千六百參拾六圓拾貳錢六厘

(但し慈善券附空袋壹枚金壹厘の割)

三十四年中賣上數	七、八四九、七二〇
三十五年中同	七、九一九、二三二
三十六年中賣上高	八、五九九、三一二

三十七年中同	一〇、六〇四、二九一
三十八年中同	一二、一九八、四四六
三十九年中同	一三、八八八、〇八八
四十年中同	一五、一六四、七八二
四十一年中同	一七、一七三、三七六
四十二年中同	一九、二四八、九八二
四十三年中同	二一、九八九、八九二

太陽堂と芳香園の衝突

福岡日々新聞社副社長 原田徳次郎氏

明治四十三年前後の化粧品廣告戦は絶頂に在つた。

その年代中山太陽堂から九州方面に宣傳係りが来て、宣傳に着手しようとする時、丁度大阪の矢野芳香園が大學白粉の宣傳をして居り、水茶屋の「金時」と言ふ藝妓と相生券の「小光」と言ふ藝妓の兩名の寫眞を使用して、大學白粉の愛用者であると廣告した。

太陽堂の宣傳員は之を見て、承知をしない。「此兩名は方にクラブの愛用者である。君の社はそれを確かめての仕事かと、すごい權幕である。そんなことは新聞社の知つたことでないから、いゝ加減になだめたものだが、二三日すると右の小光と金時から、左の如き廣告が社へ来た。

念のため申上まるらせ候

相券	小光より
水券	金時より

近頃委共大學白粉の愛用者なるようの新聞廣告相見え候へ共、右は委共の一向に存じ寄らざるところに御座候、委共はお馴染みのクラブ白粉本舗よりクラブ白粉の發賣せられ候以來同品がこれまでの凡ゆる白粉よりも優れるを信じ、朋輩とも語り合ひ常にクラブ白粉のみ使用いたし居り候次第につき間違なきよう、皆々様へ御披露申上候
如何に化粧品戰の激烈であつたかを知る事が出来る、尤も右の廣告は中山太陽堂主人の素志に反するやり口でありとし、之をやつた宣傳係員は氣の毒にも許め腹を切らされたさうである。

藥品界の新進出

藥品界に在つては、中將湯は依然として間斷なく大廣告を爲して、讀者に喰ひ込んで行つた。眼藥、レベンが、廣告界に顯著なる進出を見せたのは此年代で、大廣告に談話廣告に間斷なき努力を續けた。

岡田順天堂の治麻劑意

外安川晃榮堂の痔退丸

「退痔劑等も、何れも多大

のスペースを使つた。

小倉彌太郎氏の「キユー

ア」なる「リウマチス」の藥

が、人物寫眞入りの全二

段廣告を以て世に見えたのも此時代であつた。治麻劑「ソヨール」田邊五兵衛商店の「柏木デアスターゼ」滋養強壯劑「オイスタリン」丹平商會の「アンチピリン」丸藤井得三郎商店の「龍角散」武田長兵衛商店の「肺結核新治療劑」グワヤコールツベルクリン「三共」の「タカチアスターゼ」等何れも此時代に至つて相當の活躍

▲高峰博士發見特許製法に由る消化新藥▲強度一定効力永久不變
▲類似模造品あり「タカ」の冠字御注意▲各地有名藥舖にあり

タカチアスターゼ

發賣元 東京日本橋室町三丁目 三共合資會社

高峰博士の初期廣告
「タカチアスターゼ」の第一期
其の三十四年

を見せた「守妙」も例の守田式書流によつて書かれた廣告を出し、喜多尾化學研究所の「レスピラチン」かせねつの良藥田口の「ヘブリン」丸も相當廣告に努めた。又新しき進出としては山田安民藥房の「胃腸大阪」の「五福目藥」日本模範製劑會名會社の「腦鼻液」であつた。
「赤玉ポトワイン」は此年代目立つたる大型廣告はしなかつたが、相當のスペースを使用し、小林腦行の「煙ぶし片腦油」も此年熾んに宣傳をしたようだ。

日刊新聞紙上に現はれた新藥廣告の初まり「タカチアスターゼ」

黒田藥品商會

永田左門氏

明治三十四年か五年頃に三共株式會社の今の鹽原社長がアメ

ジヤスターゼが非常に物興して來たのですが、これは初めから高峰博士が醫藥のつもりで拵へられたのではないのです。ウ



二共

講談俱樂部

一冊 拾八錢
郵税 一錢半
東京朝日新聞社
講談社
口屋六六二九

秀次の最後、痴遊、好老爺、トム、名山の骨相、一休畫傳、金儲け

活動寫眞巡り、劇場評判記、親子の試合、典山、浅香、四郎、重松

講談社の「講談俱樂部」の頃、此は如く小さいのもあり、四月十四日 = 初も告廣の[部樂俱談講]の社談講

丸善は四十三年の十二月に「センチユリー大字典補遺」二冊を、又四十四年には「ネルソン百科全書」を賣出して、又復大廣告を使つたが、併しその規模は従來の賣出とは遙かに小さかつた。

自轉車廣告進出 自轉車の需要増進に伴つて、自轉車の廣告が目立つて多くな

つて來た。日米商會の廣告を筆頭とし「ダンロップタイヤ」「パーマタイヤ」「明治タイヤ」「イーデー號自轉車」「ボニー自轉車」「ジョーキタイヤ」等の廣告が大型を以て掲載された。のみならず此時代に自轉車レースが行はれた、之と關連して自轉車の廣告が自然大きくされたことであつた。

「味の素」出初む

「味の素」は四十三年ころから、廣告が目につくようになった。世界的に何人にも知られて居る「味の素」も最初は小さなものであつたが、四十五年頃には少しく大型となつた。併し、尙それを以てしても、到底他の藥粧品とは較べものにならぬほどの型であつた。四十四年九月に懸賞賣出があり、以來廣告は頻

載された。

蓄音機と活動寫

眞常設館 大佛

が首を動かして居る圖案が、讀者の頭にしみ込んで居る。日本蓄音機商會の廣告、十字屋樂器店の廣告は、此頃より頻載されて來た。資本金三十五萬圓を以て市内八ヶ所に活動常設館、福寶館の出來たのも此頃であり、又資本金一千萬圓を以て日本活動フィルム株式會社の創立され

社會式株 **會商器音蓄本日**

從來の店舗 換日つ業 務張の爲め 左記の處へ 移轉仕候

金安圓

祝意を表す 一週間の花巻 品進呈仕候

大佛の身上が活動寫眞の出す「本日蓄音器商會」の廣告、白面、案圖として迎たれさるあでの。= 四十四年頃から =

たのも此年代である。蓄音機とか活動寫眞とか言ふのは、此年代より最盛期に入つて行つたのである。

雜種廣告 此年代、社債の賣出株式の募集がポツ／＼あつた。四十三年十月賣出された日本製鋼所社債は、最初

一頁廣告を以て見參した。紅葉屋神田鑑藏は、今こそ姿を喪つてしまつたがその頃は實に全盛期であり、國債再下受

宗山小園 吹

四十五年頃におき、赤坂源藏の「蓄音器商會」の廣告、利用したる

人として進出し、その廣告の仕方も亦相應派手であつた。四十四年に加藤増雄が創立委員長となつて、大日本勸業株式會社なる一千萬圓の會社を創立せんとし、その株式募集を一頁廣告によつて爲したのは、此年代において、人の注意を引いた多木肥料が廣告界に進出を見せたのは、此年代であり、「タイブライター」の黒澤商店も、此頃廣告を頻載した。

WRIGLEY'S
のレグリの
ムガニイウチ

5 銭

トールフーシウジ
ムガニイウチ

トールレクリ
ムガニイウチ

トールレクリ
ムガニイウチ

昭和七年における「リグレイ」の廣告、西洋もの翻譯型の同案であるが、時々優秀なものを出した。

第一質品

エビスビール

サツホロビール

ビールの
シーズン来る
世界の
喜劇王来る

大日本麦酒株式会社
内宮御用

「チャブリン」の來朝を歓迎する「エビスビール」の廣告。昭和七年。

十月廿五日

和服の
大坂 十合呉服店

の品物は決して
高くはない。そこで
農村の婦人は百貨
店と云ふものに對
して眞に認識を新
たにしたが、同時
に自分もかふした
營業政策に先鞭を
つけられた。そごう
の進歩的なのに敬

意を表し娘を預つてもらふ氣になつたことなのであります。
この新しい廣告様式は非常に好評を博しました殊に時恰も濱口緊縮内閣時代ではあり時代に即應したとも云ふのでありませう。各百貨店もこの様式をとりましたので大阪市内は云はずもがな近郊近在の物價低下を來たし價格の公正を期すことになつたのであります。(寫眞は明治四十三年十月二十五日大坂兵庫附録に掲載の其ころ出張販賣廣告)

青春之泉

タービ

醫學博士 佐伯矩先生監製

心身を鍛練して梅雨期の病魔を討て！

タービは、心身を鍛練して梅雨期の病魔を討て！



東京 丸の内
丸の内五郎

↑ 大正九年頃に出た「タービ」の広告案

ネズルミルクラード




小児科用... 補乳... 消化... 滋養...

ネズルミルクラードは、小児科用... 補乳... 消化... 滋養... 小児科用... 補乳... 消化... 滋養...

ネズルミルクラードは、小児科用... 補乳... 消化... 滋養... 小児科用... 補乳... 消化... 滋養...

「ネズルミルクラード」の大正九年時代における広告

利久

最高級 理研清酒

清酒「利久」の發賣に就て 二月十一日發賣

理研清酒の特色

利久の特色

理研清酒株式會社

↑ 理研清酒「利久」の發賣廣告である。昭和四年

鍋印 末粉

あつかい

鍋印末粉

↑ 大正八年頃に出た「末粉」の広告

← 罐詰宣傳の一頁廣告「昭和九年」



↑ 「ホンパン」の一頁廣告「昭和十一年」

ホンパン

清涼！爽快！明朗！快適！



ホンパンは林檎から造ったシャンパンです

夏の酒はホンパンに限りません。ホンパンは色からして爽やかに感じます。その上、スツキリとした香り、スイーツの胸のすく味、軽く大變爽やかな心地、而も林檎から造つたもので、すぐらな爽快感が得られます。

● 元朝御答用としても絶好！ 體裁優美な一打箱入半打箱入あり！

昭和二年「櫻正宗」の廣告

御光に
御座います
御座います
御座います
御座います

櫻正宗
現代の清酒名

山崎酒造株式會社

御贈答に
御家庭用に
生粋本場酒
白鶴印清酒

天下一品
白鶴
ルツウハ

店支京東社名合納嘉 (5月期)

大正九年頃における「嘉納合名」の銘酒「白鶴」の廣告

大正十三年頃における「大黒葡萄酒」の廣告。此頃から同葡萄酒の廣告はグングン進出して来た。

大黒葡萄酒

御進用化粧箱も御座います。

宮内省御用酒 愛媛元 甲斐産商店 東京市下酒會

年表

大正元年 日本鋼管株式會社設立 日本人造肥料會社設立 久原鑛業株式會社設立 昭和三、日本産業株式會社と改稱 大正活動寫眞株式會社設立 安田保善社設立 米價暴騰

大正二年 帝國人絹會社の前身東北工業會社設立 三共株式會社設立 池貝鐵工所設立

大正三年 歐洲大戰勃發、輸入杜絶のため我産業界混亂す 東洋紡績株式會社設立 東京上野公園に大正博覽會開催 賣藥法公布(四一施行) 青島占領 櫻島大噴火

廣告統計

年次	廣告總行數	前年ニ比 較増減歩 合 増 減	地域	藥品	合計	前年ニ比 較増減歩 合 増 減	化粧品	合計	前年ニ比 較増減歩 合 増 減	圖書	合計	前年ニ比 較増減歩 合 増 減
明四五	三三四七二	八・九	東京	一、四二〇	一、七三六	一、三〇一	一、三〇一	三、〇三七	一、〇	一、三〇一	三、〇三七	一、〇
大ニ	四五二五七	三四・九	大阪	八八〇	一、〇〇七	六八九七	四〇〇	三、五七	三、六九七	一、〇	三、五七	三、六九七
			地方	六七一・九	四、一五四	二、〇三九	二、〇三九	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
			東京	一、六一八	二、〇二二	九、五八一	三、三九〇	二、四三七	二、四三七	二、四三七	二、四三七	二、四三七
			大阪	一、〇〇六	一、一三五	九、五八一	三、三九〇	二、四三七	二、四三七	二、四三七	二、四三七	二、四三七
			地方	六〇三・七	六、四三三	二、六三六	二、六三六	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八
			東京	一、六四三	二、六三六	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八
			大阪	一、〇二七	三、〇	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八
			地方	六二五・九	八〇・八三	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八
大三	四六六一一	三〇	東京	一、六四三	二、六三六	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八
			大阪	一、〇二七	三、〇	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八
			地方	六二五・九	八〇・八三	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八	一、三二八

國産品獎勵時代に入る

血みどろの化粧品廣告

大正元年より三年に至る年代は、最初の中は平凡であつたが、同三年歐洲大戰の勃發に依つて、經濟界は俄に活氣を呈し、廣告界も亦躍進を示したのであつた。殊に化粧品の廣告は、斷然インフレーション時代を現出し、尙化粧品において猛烈なる廣告戦が行はれ、前掲の數字に示す如く一千万行を突破したのであつた。併し藥品界に在つては八百萬行の臺に止まつて、前年と大したる差を示さなかつた。之ら諒闇の悲しみが、新聞廣告の上に影響したことは尠くなかつた。併し大正三年には大正博の開催あり、之によつて多少人氣も浮立ち、又その受賞商品の廣告が廣告面に相當多量進出を見た。當年代における化粧品の競争が如何に苛烈を極めたかを證すべく、その廣告文の數個を掲示する。

疾風迅雷の勢を以て



の「タイラプイタ」に頃年五十四
ターの告廣たし爲の「店商澤黒」

さす、圖書又同様居据りの現象であつた。
明治四十五年明治天皇の崩御に際會して、國民の心は眞つ暗らになつてしまつた。その悲しみの情、今尙深き裡に、又も昭憲皇太后崩御の悲しみが

現代の有ゆる婦人界に大流行を極め賞讃の聲湧くが如き、レイト白粉、今や日本の白粉界は東京大正博覽會に於て獨り名譽の

金牌受領したる

レイト白粉の

獨舞臺となれり

- 東京大阪
- レイト煉白粉
- レイト水白粉
- レイト固煉白粉
- レイト自然色白粉
- レイト粉白粉
- レイト打白粉

平尾贊平

(大三、一〇、二)

レイトの金牌

畏多くも

閑院宮殿下を總裁に

推戴し奉りたる東京大正博覽會に於て



パールホワイトのため初を出進に頃年二正大の店商也鏡尾平
告廣の「ド」

審査總長末松文學博士 審査部長高山工學博士 審査官井上工學博士 石津藥學博士 野口工學士の嚴密公平なる審査に依て從來内外博覽會に於て數十個の金牌を領有したる平尾贊平商店に對し大正三年七月十日更に與えられたる

レイトの**金牌**は最も名譽あり且つ化粧料の光彩ある金牌なり

肌の荒れ易い化粧の出来難い寒さの今こそレイト白粉。レイト化粧水。クレームレイト。レイト洗粉。レイトヂェリーの品質の優れた眞正との値打がよくわかる。

レイト商標本舖

東京大阪

平尾贊平

(大三、一一、四)

猛烈なる婦人運動

國産奨励の趣旨を完ふせんには先以て

内地製品の完全を期せざる可からず、而して日本の白粉中其の原料に於てその製法に於て最も進歩せる理想的白粉は
東京大正博覽會に於て獨り

金牌受領の

レート白粉のみ

されば軍國の婦人は當然に此内地製白粉として最も進歩せるレート白粉を用ひて國產獎勵の目的を貫かざるべからずと、到
處新なる婦人運動は起らんとす

今一番多くの人に使はれる白粉はレート白粉です

東京、大阪

平尾贊平

(大、三、一、一、八)

クラブ白粉

クラブの信用

凡ての金牌を超越す

人は人格品は品質　クラブ白粉、クラブ齒磨、クラブ洗粉は既に十數個の金牌を受領せるも金牌を以つて賣らんとするが如
き幼稚なる商品にあらず、クラブの權威と信用は最良の品質に在り優秀なるクラブの品質は凡ての金
牌を超越せり

世には品質が粗悪でも情實の爲に金牌を貰つた人もあります。自分が審査囑託でありながら自分の商品に金牌を取つた人
もありません。運動までして金牌一つ貰ひ商品を賣る道具に使ふ人もあります。品質最良のクラブ化粧品は有名な日英大博覽
會を始め内外各地の博覽會で公正なる審査の下に十數箇の金牌を受けましたが之を自慢らしく吹聴することは見合せます。
クラブの品質は金牌を超越して居ります。クラブ化粧品は何物も犯すことの出来ない權威と信用とを有して居る日本第一の

化粧品であります。現に舶來品以上の優秀化粧品としてクラブの人気各地共通が如く近來白粉も齒磨も洗粉もクラブが
一番能く賣れて居るといふ勢ひ——事實は何よりも確かな證明者であります。

クラブ白粉

日本名物　クラブ齒磨　は金牌以上也

クラブ洗粉

(大、三、一、一、四)



大正元年における
代ねれ羽告
貴婦人令嬢の有力なる後援の下に
有名なクラブ白粉は
遂に女優式白粉を撃破せり
クラブ白粉
の人氣益々沸騰し
健全なる家庭の需要

悉くクラブ白粉に集る

日本名物クラブ齒磨本店謹製

(大、三、一、〇、二、三)

化粧品戦

化粧品界に於ける

日英同盟軍戦報

品質第一のクラブ齒磨の大捷

各方面に於ける猛烈なる商磨戦の結果勝利は遂に品質第一のクラブ商磨に歸し時代後れの安商磨は算を亂して潰走せりク
ラブ商磨の人気益々振ふ

クラブ本店は明治四十三年以來エ、メンバー、オブ、バー、マシヤルツサイチーの英國學位を有する英人ビー、エル、スミス氏を技
師として招聘し伎倆卓抜なる日本の技師と協力してクラブ商磨を始め續々優秀なる製品を作らしめつゝ、あり是れ化粧品界
に於ける日英同盟の先驅として其の當時より世に喧傳せられたる所なり

白粉戦の決勝

遂にクラブ白粉の全勝に歸す

畏き邊御買上の光榮を辱うせる優秀無給のクラブ白粉は神聖なる家庭より全然女優式白粉を撃退し家庭の品位と威嚴とは
茲に全く確保せられたり

人氣沸くが如し

目下の化粧品戦に於て前記の如くクラブ化粧品連戦連勝に歸したる結果日本名物のクラブ商磨クラブ白粉クラブ洗粉等
に對して猛烈なる需用の激増を來し各地共賣行宛ら飛ぶが如し

(大、三、一〇、四)

天下分目の化粧品戦とクラブ常勝軍の全捷

クラブ常勝軍の

壯烈なる
總攻撃 愈々クラブの
全捷に歸せり

本年八月の賣上は創業以來のレコードを破れり
今回の勝利は遂にクラブに歸しクラブ商磨クラブ白粉クラブ洗粉の需用刻々激増す

天下分け目の今回の化粧品戦に品質本位の正旗を陣頭に押立て壯烈なる總攻撃を敢行せるクラブ常勝軍は 畏き邊御買上

のクラブ白粉に依て女優式白粉を神聖なる家庭より撃退し品質第一のクラブ商磨に依て粗悪の安商磨を上中流の家庭より
一掃し日本名物クラブ洗粉に依て舶來石鹼を國外に驅逐し破竹の勢を以て遂に最後の大捷を博せりクラブの人氣益々沸
騰し八月の賣上高創業以來の記録を破る。



大木合名「ママ」の「ママ」の廣告、青島陷落の時
大正三年のものである

光榮 國産御奨励と

レイト化粧品

皇后宮職御用命

光榮に當り、皇中、に於ては、深く、國産、奨励、に、御、心を、注、が、せ、給、ひ、な、さ、れ、ば、
化粧品、の、加、き、凡、て、内地、品、を、召、さ、せ、給、ふ、と、決、め、承、り、果、然、東、京、大、正、博、覽、會、に、於、て、名、譽、の、金、牌、受、領、し、た、る、レイト、化粧品、一、切、は、この、度、
の、光、榮、に、當、り、皇、后、宮、職、御、用、命、に、當、り、蓋、し、此、の、如、き、日、本、
本、化粧品、界、未、嘗、有、る、事、に、し、て、レイト、化粧品、の、外、國、品、を、浸、し、且、内地、
製品、中、最、優、等、の、品質、を、有、する、もの、なる、事、を、認、し、得、る、もの、なり

謹告 レイト化粧品愛用者に
以上の各譽を謹告す
平尾贊平敬白

歐州戰亂勃發と共に國産の奨励が
各方面に高くなくつて來た。之は
化粧品本舖の爲に、大正三年
=年

近頃は 齒磨モ白粉モ洗粉モ
クラブばかりが賣れて居ます

輸入品杜絶に乗ずる化粧品

化粧品は、年と共にその広告量を増加し正に天井知らずの情勢を示したが、大正三年歐洲大戦の勃發を見るや、輸入化粧品が尠くなり、のみならず、國內に於ても、國産品使用奨励の聲が高まり、畏くも皇室におかせられても、内國産を御使用あらせられ、範を垂れさせたまふことであつた。それらのために化粧品は益々廣告界に進出の度を高めて來たのであつた。

クラブ化粧品

中山一 恩賜牌



中華民國創始の英雄孫文先生の來遊を機會としてクラブ本店は滿腔の敬意を表する。同時に我がクラブ齒磨の愛用者として先生の如き大人物を有するを光榮とす

大正二年に孫文先生が來朝した時、中山一氏の「クラブ」は、その時、大正二年に孫文先生が來朝した時、中山一氏は、孫文と

いて、廣告面に載せた。大正二年二月支那から孫文がやつて來た時、クラブの店主中山一氏は、孫文と

交驩の廣告を出して、クラブ化粧品を宣傳した。又その五月には、クラブ乳液化粧水「同洗面香水」「同美身ゼリー」「同キニーネ香水」「マツセー」「クリーム」「同溶液」「同煉り齒磨」「同水はみがき」等を賣出して、大々的の宣傳廣告を爲した。クラブの創意にかゝる「イツツブ」「クラブ」「クラブ讀本」の廣告文案二三を掲げる。

いそつぷクラブ

牛とクラブ齒磨

ニツの角と、強い力とを授つた牛は、これさへ有れば大丈夫だと思つて、他の獸のやうに齒を大切にしなかつた爲に、何時か牙もなく、終には柔い草を食物にしても、其れをうまく嚙消化する事が出來ないので、何通と無く嚙下しては、又口へ戻すやうになりました。或時牛の仲間が集つて何うしたら皆の齒がもとの通りに成るだらうと評議をしましたが、其中の賢い牛が、「私に好い考へがある」と云つて、早速街へ行き、クラブ齒磨を山程買つて來ました。そうして莞爾しながら、諸君、我々は人間に力を貸すか、はりに、人間から一番貴い智慧を借りて來ました。我々も此クラブ齒磨で、是から常に齒を磨かなければなりませんと教へました。

(訓言) 巧なる手術も平素の衛生に如かず

鼠とクラブクリーム

天井の鼠達が手分をして食物を探しに行きましたが、歸つて來た時にはめい／＼鏡餅の欠片や、鮭の頭や、お菓子や、お芋や、種々の物を持ち寄つて、皆自慢顔に晩餐會を催しました。其中に一匹の若い牝鼠は美しいクラブクリームの容器を持つて來たので、他の鼠は早速其日を喰いだ後、何だ是は牛酪か糊でもあるかと思つたら、こんな物が食へやしない。と云ひますと、牝鼠は笑つて、これは食物ぢやありません、お化粧する爲の大切な品です。と答へました。他の鼠は口を揃へて、そんな物よりは食物が入用なのだ。我々は食物さへあれば好いのだ。と言ひました。

北風は皆の笑ふのに頓着せずクラブクリームを常に用ひてゐたのでやがて見違へる程美しく成り、食卓に住む大身代の鼠の處へお嫁入を爲る事になりました。

(訓言) 化粧は最善の滋養なり

この風船玉から今東京一番賣行の時

美人の化粧料

ホーカー液

當て、御覽なさい

あれ性のなま男も向はず
ホーカー液を洗つておぼろさま
このホーカー液には何より
ホーカー液が御家庭の必需品です

今スグ スグ スグ 御近所へお送り下さい

一日後、一日御損です

栄光





告廣頁一たしに月一年三正大が[液-カーホ]

鴛鴦とクラブ化粧水

池の蛙が浮草の中で茶話會を開いた時、一匹の蛙が一體人間は化粧で美しくなると云ふが、化粧といふのは何の事だらう。と聞くと此頃豪所から引越して来たばかりの蛙が飛出して、僕は其化粧するのを見た事がある。何でもはじめは水で顔を洗つて水を塗るのだ。と言ひました。すると他の蛙が可笑しいな。水で洗つて水を塗るだけで美しくなるのなら我々のやうに年中水のなかに住んでゐるものは人間よりもつと美しくならねばならん筈だ。然うだ。然うだ。と多くの蛙が賛成しました。

其池に遊んで居た鴛鴦が此話を聞いて、君達は水といへば皆此池の水と同じだと思つて居るのか。人間の顔を洗ふのはクラブ洗粉の解水顔に塗るのは化粧水だよ。と言ひました。

(訓言) 美を知る者は美し

クラブ讀本

第一課燈臺

海を航する船乗の第一の力頼は陸の燈臺であります。これを目標に針路を定めます、暗礁をも避けます。衝突をも免れるのであります。天も海も黒い布を張りつめたような暗の夜を航海者は燈臺の光りに導かれて前へ／＼と船を進めます。而して目ざす港へ無事に着くことが出来るのであります。

化粧の海を照らす

燈臺は何？

日本一のクラブ

- クラブあらひこ
- クラブおしろい
- クラブはみがき
- クラブポマード
- クラブ化粧品
- クラブ乳液化粧品
- クラブ美身クリーム
- クラブ商磨煉
- クラブマツセークリーム

レート化粧品

「レート」は大正元年の秋、観劇シーズンに入るや、澤村宗十郎や市川左團次の妻女を引つ張り出して来て、之に「レート」化粧品禮讚の談話を爲さしめ、宣傳に使用した。而して大正博開かる、や、平尾レート化粧館を場内に特設して、愛用者の便に供した。

ミツワ化粧品

丸見屋では、新に「ミツワ」浮石鹼を賣出し、大廣告を爲した。更に同店では、大正二年一月に「丸見屋ミツワ家庭薬」と言ふを賣出し、間斷なく全六段の大廣告を頻載した。右「ミツワ家庭薬」は藥劑の處方を公開せるものであり、賣藥界に大なる生面を開いたもので同時に廣告の眞實性を確保せんとする新らしい試みであつた。

處方を公開せる

ミツワ家庭薬

發賣の趣旨

賣藥の目的は常識を以て判斷せらる、病者に對し最も輕便に藥劑を與へてその治療を圖るに在り。内容秘密にして徒らに萬能を吹聴する如きは、到底現代の要求に應ずるものに非ずと信ず。茲に於て小店醫學上及藥學上の見地より最も確なる處方を定め、藥名分量を公開し、純良なる藥品を選び、調劑を精確にして各種の

爲した。

又同店では「三百番香水」と言ふを賣出した。



平尾レートの化粧館の廣告の露披 [館化粧トール尾平] たし
= 年三正大 =

ミツワ家庭薬

を發賣す、幸に斯界に一新紀元を開くを得ば、小店の望みや足る。即ち茲に大方の贊同を仰がんとする所以なり。

丸見屋商店

丸見屋では又「ミツワ」椿油を賣出して、廣告界に進出して來た。化粧品界の競争が餘りに苛烈を來した、めに、廣告に誇大性を加へる懼れあり、此に於てか「ミツワ」化粧品發賣元の「丸見屋商店」では、卒先して同店の主張稟告として、左の如き一頁廣告を

美顔水 「美顔水」の大広告も間断なく続いた。一頁廣告などは珍らしくも何んともなくなつてしまつた観があるほどであつた。それに「美顔水」の姉妹化粧品たる「美顔石鹼」が賣出された。之が又どしどしと廣告界に進出して來た。



[店商木々佐] 舖本[んきふやつ] 及訴に烈猛、らか頃年元正大が [ルベラ液粧化厚濃]たし始開を 告廣頁一の



らした來てし出進らか頃年元正大が[會商平丹] [スイナ染毛赤が]

「スミレ香油」「スミレ黒香油」 「平尾銃也」商店では、此時代において「スミレ香水」「スミレ黒香油」をもつて進出して來た。又同店の「パール」も歌舞伎座に進出して、觀劇の大衆に見參することになつた。

「ナイス」「エンプレス白粉」 「丹平商會」は「しら」が染赤毛染、ナイスの發賣を開始した。又「永山商會」は「エ



永の頃年元正大 [會商山] 告廣の [粉白スレ]

ンプレス白粉」を發賣し、化粧品界に割込んで來た。
「御代椿」「島椿」 大阪の「多田商店」も「御代椿」「島椿」を以て進出して來た。

「スワン浮石鹼」 「スワン浮石鹼」の半頁廣告。「ツバメ齒磨」の長三洲ぼりの字をもつて書かれた單純な全一段の廣告、何れも此年代における化粧品廣告戰の選手であつた。その



ワス]た來てし出進に界告廣に頃年元正大 盛全鹼石浮は界鹼石頃此 告廣の[鹼石ン たつあて代時

中に「アルボース」が、一段三行廣告をもつて時々顔を出したのは、尠からず愛嬌のあることであつた。
「メチール」香水檢舉 又此年代警視廳は悪香水に「メチール」酒精を使用して居るものありと目星を付け、之が檢舉を開始したところ、果せるかな二三不良香水を販賣して居るものあり、容赦なく檢舉された。

「ライオン齒磨」 「ライオン齒磨は大正元年十月にその大阪支店にて、子供繪懸賞募集を爲した。又二年四月には一等五百圓の賞金を以て新聞半切大の懸賞廣告繪の募集をした。更に大正元年における「ライオン慈善券」は二萬四千六百六十八圓六十二錢六厘に達したことを廣告した。

藥品界と戰亂——三共の國產藥品廣告

高峯博士發見の本劑は消化新藥として總の胃腸疾患に効あり、殊に本邦人に最多き澱粉消化不良症、胃酸過多症、消化不良に續發する諸症及消化の催進に著して治癒を促す胃腸症に用ゐて卓効を奏し能く其全身の榮養を増進す

各地有名藥舖にて販賣す
東京市日本橋區室町三丁目
粉末・錠劑・強壯酒あり
詳細なる説明書あり郵呈す

高峯博士發見の本劑は消化新藥として總の胃腸疾患に効あり、殊に本邦人に最多き澱粉消化不良症、胃酸過多症、消化不良に續發する諸症及消化の催進に著して治癒を促す胃腸症に用ゐて卓効を奏し能く其全身の榮養を増進す

三共株式會社

大正二年頃における「三共」の「カチ」廣告

藥品界に在つても化粧品界と同じく、外國からの輸入を待つことが出来ないために相當製劑上に打撃を受けたものと見られる。此中に在つて「三共」が堂々と、藥劑の輸入困難は決して憂ふるところにあらずと廣告を爲したことは、國民に力強き感をも與へたものであつた。

胃腸新藥

高峯藥學工學博士が發見せるタカヂアスターゼは一の材料も海外に仰ぐことなき完全なる獨立工場を内地に有す
內國製藥工場の發達を期すべく本會社は曩に高峯博士に乞ふて本劑の製造所を内地に新設し今や全然其製出品を供給するに至れり又本會社は鋭意從來製出品以外の各種製藥企業を計畫し着々進行の中にあり倍舊の乞御愛顧タカヂアスターゼ説明書は御申越次第送呈す。

東京室町 三共株式會社

藥品の騰貴

タカヂアスターゼは完全なる獨立工場を内地に有せる爲何等影響を被らず賣價平時に同じ

有史以來の大戦亂は全歐より遂に東洋に波及し一般藥品の相場は暴騰せり此騰貴は獨り本邦市場に限る現象にあらず戰時に伴ふ世界共通的暴騰にして經濟學界の原則に外ならず善隣露西亞の藥業界は商品缺乏の爲將に供給不能の狀態に類しつゝあり又中立國たる北米合衆國に於ける藥品相場は本邦の騰貴價格に比し一層遙に奔騰せり
我政府は茲に見るあり世界的相場に比し尙未だ低廉なる本邦輸入藥品の逆輸出を防止せんが爲速然八月二十七日を以て內務省令第十八號を發布し之が制限方法を實施せられたり高峯博士發見の胃腸新藥タカヂアスターゼは從來北米及英國にて製造したるものを輸入し當會社に於て小分の上販賣し來りたるも時代の要求に應じ高峯研究所は東洋に於ける需用量は日本に於て之を製造すべき計畫を立て已に半年來其分工場を當會社品川工場構内に設置し製造を開始せられ近時専ら其製出品を市場に供給するの運に至りたるに由り這回の大戦亂に際し幸にも影響を被る所なく依然左表の如き平時の規定價格を以て醫藥界の愛用に應ずるの便宜を有せり。

- 粉末 七瓦 五五
- 同 十四瓦 九〇

「仁丹廣告に新生面 尙仁丹も徒らに自己商品の宣傳をするばかりが大廣告の能でないとし此年代に於て格言入りの廣告を始めた。之は有意義な試みであつた。」

六八〇

廣告革新の宣言

時代の要求に應せんとする
今後の仁丹廣告

今や時代は廣告を見るにも何物かを得んとする傾向あるに際し弊舖は茲に社會の公益を念とし奮然今後の仁丹廣告には普く東西古今の格言俚諺を併掲す夫れ聖哲偉人の金言は其の實踐射行の薫影なるが故に日夕之と親しむに於ては感化の實効眞に測り知るべからず：乃ち

堪忍は無事長久の基……徳川家康
の此一句に三百年泰平の礎を築きし



大正元年仁丹藥房の「命の母」を出し賣たし
一時の第一廣告

大計の光輝輝くにあらずや
至誠は凡ての力に勝つ……ワシントン
然り此の尊き信條は一介の青年をして米國を光榮ある獨立國たらしめしにあらずや
勝利は最後の五分にあり……ナポレオン
此の活機を冥得せしコルシカ島の 賤夫ナポレオンはやがて歐洲全土を席捲して大皇帝を贏得しにあらずや

天下を修めんとせば……先づ己の心を修めよ (孔子)
之の教化は東洋三千年史を支配せる大思想たるにあらずや
汝の敵を愛せよ……(クリスト)
博愛權化の發現は大救世主として將た歐洲文明の炬火として永遠に輝き渡るなり
平等即差別……(釋迦)

東北領南兄弟局報告
義捐金支出報告
仁丹廣告見直し
右合計壹萬圓

廣告革新の宣言

時代要求に應せんとする
今後の仁丹廣告

仁丹廣告見直し
仁丹廣告見直し
仁丹廣告見直し

仁丹を服用し、しと告
徒らに廣告のそと告
に廣告のそと告
大に廣告のそと告
なきは言革告大
な無言新告大
意味掲言新告大
スベス載言新告大

此の大信念は昆羅の王嗣子をして衆生
濟度の牟尼佛たらしめたり
不信の友は敵に如かず……(セキスピア)
十字を讀むよりも一字を味へ……(ブライン)
節儉は家事を治むる精神なり……(スマイルス)
非常の備へは日常に在り……(徳川慶喜公)
正直は信用を産み信用は富を産む……(フランクリン)
大害は些少の怠慢より生ず……(リチャード)
此の如き貴重なる金言を……今後は大小悉

くの仁丹廣告……に選揚し以て
仁丹の廣告は處世修養上見逃すべからずとして活きたる價值あらしむるを得ば豈啻だ弊舖の光榮大なるに止まらんや滿
天下の仁丹愛用諸賢翼くは諒として賛し迎へられんことを
大正三年二月
仁丹本舖 森下博藥房

六八一

(大正三年九月)

ミツワ石鹼

輸入の杜絶と原料の暴騰

今度の世界の大打撃に就きまして、商工界全般主要の原料を外國に仰いで居りますものは、何れも、
致しましたこと、甚しく混亂に陥つてゐるやうであります。幸に

ミツワ石鹼は

原料を豊富に用意してあるのみでなく、最も多く本邦産出の原料を用ひて居りますので、當分

品切れ、値上等の憂なし

是は畢竟其原料及び製造法が他に比して特殊に一段立勝つてゐる許でなく、下記店員各分擔を定めて責任を負ひ、誠心誠意
業務に従ひ、殊に試験部では各科専門の技師が常に研究を怠らず

ミツワ石鹼の

品質をして益々向上せしめ、且其生産費を極端に減少させる事に努めて居ります。故に嵩の大きな浮石鹼よりも却つて

使つて見ると非常に經濟

である事が分つて参りました結果、近頃ミツワ石鹼の需要が急激に増加しました。これは即ち

ミツワ石鹼は

品質の最も優良な化粧石鹼である上に、實用向として極めて徳用な品であると云ふ事が確實に證據立られてゐるのであり
ます。

東京市日本橋區橋町四丁目

藥劑滋養品、石鹼、化粧品、小間物問屋

ミツワ石鹼

ミツワ家庭藥

肝油ドロップス

御園化粧品

發賣元 丸見屋商店

(大、三、九)



正大が「丸見屋」元賣發の「化粧石鹼」を博覧會に披露した施設「御園特設館」を披露
= 年三正大 = 告廣頁一たし

花王石鹼を提げて 諸君の自覺に訴ふ

謹んで今回宮内大臣の内訓を見ま
するに、時局の進展に連れて國家の經
濟を緊要する爲め、官内省所管に於て
は是より努めて内國品を使用せよと
のことでありませう。而して九重の雲
間より漏れ承る所に依れば、長くも
兩陛下には、豫てより凡ての御調度は
大抵内國品を御召し遊ばさるとの御
事ですから、今回の内訓もその大御
心を奉體して、國民に模範を示された

ものと恐察致します。

續つて想ひまするに花王石鹼が二十六年前日本製石鹼の嚆矢として發賣しましてから常に品質本位を標榜して極度の廉價を保ち舶來品より以上の廉價の良品を提供して輸入防遏を企て國家經濟を叫び諸君に告白致しましたのも畏き 大御心の一節に叶ひ奉つたこと、私に恐悅を禁じ得ないのであります。

事實に於て幾度となく宮内省御買上の光榮を賜り且又帝國陸海軍帝國大學赤十字病院其他官衙病院會社等に於て實験の上最優等の石鹼として不絶採用せらるゝを見て品質本位の花王石鹼は眞に日本製石鹼にして而も世界的廉價の良品といふことを御記憶の上益々御愛用あらんことを切望致します。

弊商會は此の機に際し倍舊の熱誠を以て品質の改善に盡し諸君の御愛顧に酬い更に進んで海外輸出の路を擴張し國產獎勵の御趣意に添ひ奉らんことを誓ひます。

花王石鹼製造元 東京馬喰町 長 瀬 商 會
 花王石鹼關西代理店 大阪安土町 大崎 組 商 會
 (大正三、九)

今や内地生産品の使用國產獎勵の聲は吾邦上下に渉る國論なり
 日本人の手により日本の麥を以て醸造せる純手たる國産ビールはエビス、サッポロ、アサヒの三種あるのみ
 吾社多年の主張は全然國論と一致せり愛國の士は益々國産ビールに御同情御愛飲を乞ふ。

國產麥酒醸造元

大日本麥酒株式會社

(大正三、一〇)

舶來品無用

日本人の肌膚には日本一のラベル石鹼

舶來石鹼の輸入杜絶憂ふるに足らず

世界大戦亂の結果舶來品の輸入杜絶を心配する人がありますが他の品はいざ知らず少くとも石鹼だけは最早や舶來品を尊重する時代は過ぎ去りました。何んとなれば日本にはラベル石鹼と云ふ舶來品に比して其品質の數等優るとも劣らない石鹼があります。ですから最早や不便を忍んでわざ／＼値段の高い舶來石鹼を使用する必要がありません。

十一月十日より十九日まで 予日題

青島占領祝賀大賣出し

松坂屋

いとう呉服店

大正三年十一月十日
 青島占領祝賀大賣出し
 松坂屋 呉服店

ラベル石鹼は日本最良の石鹼で洗面入浴の際御使用になれば其床しい芳香は永く保ち皮膚の營養を増し眞に爽快な気分と

論より證據一度御召し遊ばせ其効果は百萬言の効能書よりも明かに御了解になります。

(大正三、一〇)

我が國產の

品質本位花王石鹼は

大正白粉 本館 矢野芳香園

磨齒メバツ

一全な調單此は「磨齒メバツ」の園香芳野矢舖本「粉白學大」
 =後前年元正大=。たつか多がとこるす用使を告廣段

今や冲天の日の如く鮮かに眞價を認められました。それは廉價なる良品として全世界に比類無き石鹼王の章です

花王石鹼製造元
鶴香水關東代理店
東京馬喰町
長瀬商會
鶴香水日本輸入元
花王石鹼關西代理店
大阪安土町
大崎組商會

(大正三、一〇)

國產獎勵の聲は

九重の雲を漏れて舉國一致の輿論となりました

品質本位

花王石鹼が

廿餘年來標榜して来た純日本製石鹼の光輝は
一層品質の改善に依り國內は勿論海外にまで

益々異彩を放つ時機が來ました

花王石鹼製造元 鶴香水關東代理店
東京馬喰町 長瀬商會

鶴香水日本輸入元 花王石鹼關西代理店

大阪安土町 大崎組商會

(大正三、一〇)

ライオン齒磨

之を政府の報告に見よ。

斯の如き齒磨は實に信用す可し

大藏省主税局調査

「大正二年外國貿易概覽」に曰く

○齒磨粉 本年本品の輸出は支那を第一の販路とし更に印度方面に於て著しき發展を來たし其他南米方面に於ても纏りたる數の賣行あり。輸出の品は依然東京小林製のライオン印最も多く英米向として需要あるのみならず本年メキシコ方面へも纏りたる賣行あるに至れり(同書重要輸出品の狀況齒磨粉の部第三九三四頁)

ライオン齒磨は唯有りの儘の事實を言ふのみ

(大、三、一〇)

輸入防止

日本一のラベル石鹼

輸入防止

舶來品排斥の愛國的叫は、今や

六千萬國民の口頭に進れり

此の間に於て最も露骨に最も
大膽に愛國の氣を吐けるものは
天下ひとり舶來に優る

ラベル石鹼

あるのみ

ラベル石鹼は單に學術上の模範石鹼たるのみならず、舶來石鹼と雖も未だ嘗て使用せざる皮膚を美化する處女油と云ふ極めて貴重なる原料を以て造られし日本一の化粧石鹼なるが故に、在來舶來石鹼を使用せられし人々も進んでラベル石鹼を愛用せらるゝに至れり故に今や舶來石鹼の輸入は全く斷絶せんとする有様にして之が爲國家を益する事實に幾何なるを知らず之れラベル石鹼以上の理想的逸品として好評噴々たる所以なり

敵愾
愈々陥落

祝青島陥落

日本
名物
クラブ歯磨
本店

のものの磨齒ブラク上同

ラベル齒磨 つかふきん
ラベル石鹼 發賣元 佐々木商店
ラベル化粧液
ラベル白粉

(大三二)

花王石鹼

は嚴密なる化學的試験に依つて見れば高價なる舶來石鹼にも勝る純良の品質なるを以て幾度か宮内省の御買上を蒙り又不



大正元年頃猛烈に出た「日本商會」の
「ラベル石鹼」の品質を保證する

國産品の光輝は

廿有六年間品質本位を標榜して極度の廉價を保ち國家經濟を絶叫し舶來石鹼の輸入防遏を遂行した

品質本位

花王石鹼に

就て御覽下さい

花王石鹼製造元
鶴香水關東代理店 東京馬喰町 長瀬商會
鶴香水日本輸入元 大阪安土町 大崎組商會
花王石鹼關西代理店

(大三二)

青島陥落祝賀廣告

大正三年青島陥落するや、各方面の商品からその祝賀廣告は相當に出たのである。併しそれを一番多く出したのは矢張り化粧品であつた。そうしてその數多き化粧品廣告の中には、優秀な意匠のものも尠くなかつた。

祝青島陥落

青島は陥落せり

我が陸海軍は攻圍の最初より、近世文明の産み出したる凡ての機關を利用する事に於て、寸末毫厘の遺漏だもなかりき、之に加ふるに壯烈鬼神をも泣かしむ可き我が將卒の忠勇あり。國民一般が其の豫期せるよりも早く青島陥落の快報を受領するを得たるは、職として此に由らすんばある可からず。

我が丸見屋商店も、亦あらゆる文明の設備を應用する點に於て、他に比し常に一日の長ある事を誇り、店員一同全力を盡くして、各其の分擔せる業務に従ひつゝあり。顧みて、尙に其の豫期せる目的を達し、國家經濟の上に於て、寸時も忽にする能はざる化學工業の獨立を遂げ、輸入防遏國產獎勵の實を擧ぐる、亦甚だ遠きにあらざる可きを信す。

今青島陥落の報に接し、斯の感特に深きものあり、從つて之れを祝賀し慶喜するの情更に一層痛切なるを覺ゆ。即ち茲に我が忠勇なる陸海軍の將士に對し、滿腔の熱誠を捧げ、感謝の意を表す

ミツワ石鹼本舗

東京 丸見屋商店

(大、三、一、九)

見よ

皇軍の威容堂々として東洋を歴し

膠州灣頭旭旗將に續らんとす

皇威は全世界に輝きて

旭日昇天の如し

見よ

婦人良藥 中將湯の威力今や國內を歴し

名聲海外に轟く

歐米の婦人等しく本劑に頼らんとす

是れ獨り中將湯の名譽のみに

非ずして國利民福の根源なり

近時醫學界に此煎藥の

採用せらるゝもの多きを見る

以て偉効あるの所以を證す

中將湯の名聲愈々高し

醫學博士 瀬川昌善先生賞詞

幾多賣藥中内外に名聲を轟かしたる中將湯の婦人諸病に偉効あることは産科婦人科専門醫學博士諸氏の證明に徴しても明かなり余も本劑に關して多數の子宮病ヒステリー、月經不順等の諸病者に服用せしめし結果著々良好の成績を得たることを實驗せり故に余は「中將湯」は婦人藥として最良の者たるべきを確信す。

醫學博士諸大家の證明せらるゝ世界唯一の婦人良藥

左の容態の人は是非中将湯を試みよ

子宮病 子宮内膜炎にて白帶下強く下腹子宮腰足引つり痛み下腹より胸先へ差込正氣を失ひ又は赤血にて顔色蒼白き人
 血の道ヒステリー婦人神經衰弱症にて氣鬱き崩高ぶり夜眠られず些の事を氣にかけ根氣薄く息切動氣強き人
 逆上頭痛 眩暈を起し耳なり脊肩こり腰足冷え込みの爲め懷妊せざる人
 月經不順 月經滯ほりより起る逆上頭痛めまい女十七八歳になり月經なく血ぶとり又は月經前後に下腹痛む人
 産前 何となく常ならざる人嘔吐(はきけ)或は流産難産等の癖ある人しびれ水腫
 産後 古血の滯り或は日立悪き人

此外總て子宮血の道等の諸症に用ゆれば血のめぐりを調へ帶下を止め身體を強健にするを以て子なき婦人をして懷妊せしむ

定價

二日分	廿 錢	本舖に十數種の加減藥を調合
四日分	三十五 錢	發賣す希望の方は患者の容態
一週間分	六十 錢	詳細御來談を乞ふ
二週間分	一圓十 錢	
三週間分	一圓六十 錢	
五週間分	二圓五十 錢	
十週間分	四圓五十 錢	御家族用桐箱入新案振出器附
廿週間分	八圓五十 錢	

東京市日本橋區通四丁目
 本舖 津村順天堂本店

大阪市堺筋大賣寺町
 津村順天堂分店

中将湯は世界各國至る處の藥店にて販賣す
 (天三、一〇、一一)

「味の素」の大型廣告

「味の素」の廣告は此年代において漸次大きくなつて行つた。遂に半頁廣告にまで進出し、由來地味勝であつた圖案文案も、此頃に至つて餘程ばつとして來た。

三越新館竣成

大正二年八月、三越は三千圓の懸賞を以て諸種文藝の作品募集をやつた。又同店として記念すべきことは此年においてその壯麗なる新館の成つたことである。一千百六十七の日子と二十二萬人の勞力を以て此白聖館の竣成したを悦ぶ旨、一頁廣告を爲した。

三越の新館成る

帝國首都の中央、日本橋々畔の白色宮たる三越吳服店は、千百六十七の日子と二十二萬人の勞力とを費してこゝに全く落成を告ぐ地に入ること百七十尺、地下室より屋頂階に及んで實に七階塔に上れば東京市中を一眸に萃め、不二山は正に指呼の間に在り。

店內の設備は、泰西科學の粹を聚めて、便利と快感とを兼有せしめ、且新に食料品、罐頭茶、花の營業部門を増設せり。三越吳服

店は此新館を建築し得たる事を以て一に華客各位の庇護に由るものと深く感謝の意を表すると共に、今後一層の努力を以て

六九六



三越の新館成る

帝國首都の中央、日本橋の地、三越呉服店は、千七百六十七の坪、二十一人の努力を以て、ここに全く落成を告ぐ。

地に入るに三十有餘日、天を穿つること百七十尺、地下にありて、厚層に及んで、實に七階、塔の上は、東京市中の一階に等し、不二山は、正に指掌の間に在り、店門の裝飾は、泰西科學の輝を蒙りて、徳利と快談とを兼有せしめ、且新に食料品、贈答、茶、花の營業部門を増設せり、三越呉服店は、此新館を建築し得たる事を以て、一に華客各位の庇護に由るものと深く感謝の意を表すと共に、今後一層の努力を以て、此恩眷に報い奉らん事を期す。

十月一日より
 第廿八回新柄陳列會 雜貨新製品陳列會 懸賞寫眞陳列美術展覽會
 十月十日より
 寄切見切反物賣出し
 十一月一日より
 舶來品代用 内國製品陳列會
 餘技作品展覽會
 日本美術院主催(十月十六日より)
 日本美術院再興記念展覽會
 流行會主催(十一月廿日より)

東京 三越呉服店
 四日間臨時休業

大正三年三月三十一日新築落成時における一頁廣告

此恩眷に報い奉らん事を期す。

三越呉服店は十月一日を期し、此新館の戸を開放す。其一利那より永久に涉つて華客各位の御來臨の益々繁からんことを希ふ。

東京市 三越呉服店

十月一日より
 第廿八回新柄陳列會 雜貨新製品陳列會 懸賞寫眞陳列美術展覽會
 十月十日より
 寄切見切反物賣出し
 十一月一日より
 舶來品代用 内國製品陳列會
 餘技作品展覽會
 日本美術院主催(十月十六日より)
 日本美術院再興記念展覽會
 流行會主催(十一月廿日より)

右準備の爲め九月廿七廿八廿九三十日の四日間臨時休業仕候。御用相缺き甚恐縮の至りに奉存候へ共何卒御宥下され度候。

廣告意匠展覽會

(大正三年九月)

「森永」白牡丹 森永の「ミルク・キャラメル」は此年代に賣出されたものである。雜報欄の廣告を以て、頻りに宣傳をした。「大西白牡丹」では店主大西榮輔氏の談話を全二段抜きで廣告文案に代用した。同店としては初めての試みであつた。

六九七



大正二年頃「實業日本社」の雑誌行發の廣告

「自轉車と自動自轉車」 「自轉車」の廣告は、日米商會が依然として目立ち、又赤坂の「二葉屋」が盛んに自動自轉車の廣告をして居るのが目についた。

出版界大差無し

此年代における圖書方面の廣告は、前年と大した差なく、何れかと言へば沈衰の形に至つた。丸善が「新スタンダード辭典」を賣出したが、嘗つて行つた外書賣出の如き活氣はなく、その他において稍目に立つたものは、富山房の「佛教大辭彙」、大日本文明協會の「國際的學術普及機關翻譯出版界の權威を標榜したところの會員募集」、婦人文庫刊行會の「婦人文庫」「國民文庫刊行會」の「泰西名著文庫會員募集」、大倉商店の「ことばの泉縮冊」「金尾文淵堂」の「文藝圖書二十一種短期特賣」、民友社の「現代叢書」「富山房」の「大日本地名辭書」「西洋全史」「最新植物學講義」、日本家庭百科事業以上の「四大名著賣出」。同じく、富山房の「正譯英和新辭典」「國民文庫」の「續國民文庫會

員募集「早大出版部」の吉田東伍博士「倒敍日本史十冊」の豫約出版「同文館」の田尻博士「財政と金融」の二十三版刊行等であつた。尙、實業之日本社は此年代において「實業講習録」を發行し、又その時同社の爲した「日本の少年」「少女の友」「幼年の友」の廣告は常にその大きさに於いて、他の月刊雜誌よりも圖抜けたものを使用し、異彩を放つて居た。

歐洲戰爭實記

歐洲大戰開始と同時に、博文館は大正三年八月二十八日を以て「歐洲戰爭實記」第一號を發行した。之が同大戰に關し、日本にて同戰亂關係の圖書を發行した第一番であつた。次で富山房は「大戰寫眞畫報」を發行した。

石井研堂翁無罪の事

明治二十八年三月石井研堂が、小國民に海軍の手旗信號を詳しく説明したものを圖入りで書いて、それが軍機漏洩罪に問はれ、懲役三ヶ月に問はれた。大審院に事件の廻はつたのが十一月で、裁判長が判決文を讀上げんとする利那辯護士から右に關する省令十三號は廢止されたと言ふことを申立てた。その申立を聽いて裁判長は意外の顔念のため調べるに正に兩三日前に廢止となつたものだ。そこで即座に石井研堂は無罪となつたと言ふ。

年表

大正四年 帝國蠶業會社設立 暴落の生絲買入を行ふ 輸入品代用品工業勃興 此年中頃より歐
 洲戰亂の好影響を反映して、我經濟界は大景氣を招徠す 大正四年以降四年間に運賃、備船料、保險料
 等の貿易外收支受取超過高は十八億圓の巨額に達し、大正初年在外正貨の危機を叫ばれたるものが
 大正八年末には二十四億四千五百萬圓と言ふ未曾有の巨額に達した。米價調節に關する件公布
 (即日施行) 横濱生絲問屋、上一番七六〇圓以下の賣止を決議 米價暴落 米價調節調査會設置 輸
 出石鹼取締規則制定 支那と廿一ヶ條條約を締結
 大正五年 工場監督官設置 日本染料製造株式會社設立 臺北新公園に臺灣勸業共進會開催 國
 民飛行協會設立

廣告統計

年次	廣告總行數	前年ニ比 較増減歩 △減	地域	藥品	合計	前年ニ比 較増減歩 △減	化粧品	合計	前年ニ比 較増減歩 △減	圖書	合計	前年ニ比 較増減歩 △減
大三	四六六一	三〇	東京	一六四三	二、六三六	一、三二八	三、九六四	一、三二八	二、六三六	三、九六四	一、三二八	二、六三六
大五	五三二〇	二九	大阪	一〇二七	八、九二四	三〇%	一、二二一	一、九四〇	二、五%	三、四〇	四、〇四二	△一、六%
			地方	六二五九	二、九	八、〇八三	二、二一七	二、三七八	八、二	五、八三八	三、一八	
			東京	一六一八	二、九	二、七一一	一、二四八	一、二六九	一、九	四、〇五	四、四三二	九〇
			大阪	九八一	二、九	八、二〇四	二、八一五	二、六二〇	一、八〇八	五、六八	五、八三八	三、一八
			地方	六五八〇	二、九	二、八一五	一、三三七	一、三七八	八、二	五、六八	五、八三八	三、一八
			東京	一七四九	二、九	二、八一五	一、三三七	一、三七八	八、二	五、六八	五、八三八	三、一八
			大阪	一〇三	二、九	二、八一五	一、三三七	一、三七八	八、二	五、六八	五、八三八	三、一八
			地方	七九五二	二、九	二、八一五	一、三三七	一、三七八	八、二	五、六八	五、八三八	三、一八

HACHIBUDOSHU

蜂印香露葡萄酒

蜂印香露葡萄酒と改めます

「蜂印香露葡萄酒」は昭和二年「蜂ブドー酒」と改名した。その時の披露廣告

際變の美酒として、生命の糧として、慰安と滋養とを兼ねた本邦第一の甘味葡萄酒を以て自他共に相許し、五十年來の光輝ある歴史と絶大の御信用を蒙つて居ります。蜂印香露葡萄酒は昔様のお奨めに依り、且つは時勢の推移に鑑み、今後「蜂ブドー酒」と改稱いたします。即ち難解の字句を避けて簡易な名稱に改めたに止まり、品質優良その他一切從來の通りであります。就きましては、一層原料の精選と品質の吟味に邁進する事を宣言いたします。どうぞ、相變らず此上の御最良御愛飲の程を偏にお願ひ申上げます。

2.5.3

近藤利兵衛商店 近藤利兵衛商店



レッキス

乳酸菌とは?

「近藤利兵衛商店」から發賣された、乳酸菌飲料「レッキス」の初期の廣告 昭和二年

世界衛生學界の權威者、マクドナルド博士の學說によると、乳酸菌の作用は、腸内菌の病原菌を死滅して、腐敗を防ぎ、腸機能を健全にして、養分を吸収するの點で、レッキスは、乳酸菌の外界に含んだ、高人氣の栄養飲料であります。



新編音

森永ミルクチョコレート

森永は、大正七年頃より「ミルク・チョコレート」を賣出した。之は初期の廣告の一ツ。

て以を匠意装包の選當賞懸が「森永」
=月六年二十正大=告廣の時たし出賣

改装

森永ピース

現代嗜好の先驅たる森永ピースは、江湖無限の御愛顧に依り、聲價隆々以て業界に一新紀元を劃するに至りたるは、弊社の光榮とする所なり。

弊社は更に、刻下の文化生活に順應せむがため、昨年十一月、懸賞入選のピース包、装意匠に改装し、目一新と共、更に更に、一層品質の精撰を圖り、以て益々國民的嗜好に奉仕せむとす。

冀くは江湖の御推讓に依り、更に一段の御愛用あらむことを。

社會式株菓製永森

「森永」は大正七年頃より「ミルク・チョコレート」を賣出した。之は初期の廣告の一ツ。

森永ビスケット

品逸大二

マリイ

モレット

最上の原料
榮養價の豊富
獨特の焼方

高維な風味
大量生産
良品廉價

社會式株菓製永森

「森永」から「マリイ」「モレット」の兩ビスケットを賣出した時の廣告。大正十四年。

年末多忙の時
最も信頼し得る
この健康とこの元氣は
全く常用しつゝある

蜂印香露葡萄酒

豐富なる滋養の賜なり

司事家
衛兵利藤近

大正四年頃の「蜂印香露葡萄酒」の廣告の
あ。此廣告は例に瓶が使な

「蜂印香露葡萄酒」は、懸賞によつて出来た新レツ
テル、及包装を使用して、大正十二年四月新製品
を賣出したその時の廣告主要斷面

英國の眞諦は國民の保健に立脚す。弊舖が本邦葡萄酒界の先驅として、七千萬同胞の體質改善に微力を効してより正に五十年、その間終始一貫せる品質本位の理想が幸にも江湖御賞識の標的と成り、以て今日の聲價隆運を招來せし事は弊舖の私に光榮とする處なり。

這の時間的成果の實現と、江湖無限の御同情とに發奮せる弊舖は、茲に生産能率の増大を圖るご共に、多年の懸案たりしレツテル及包装の改造を斷行し、舊套一新、更に新らしき使命の下に、時代人心の要求に順應せんごす。惟ふに其の品質の精選と清新高雅の意匠とは、相俟て蜂印の眞價をして永久ならしむるものと確信す。健康第一、冀くは日常文化生活の爲なくして、ならぬ國民飲料、蜂印香露葡萄酒の御試飲を敢て全國各階級の御家庭に力強く推奨す。

店商衛兵手
店本衛兵手

「我人類を強くせよ！
我日本を固くせよ！」
カルピスの力！
カルピスの力！

ONE CUP OF CAL-PIS MAKES MAN
HEALTHY WEALTHY AND WISE.

カルピカ

りな易容だ甚は造改の體人

健康は藝術である
カルピスの健康は――
下白濁、上白濁も
執務に
遊藝に
宴會に
家庭に
門外漢上の設備も早く

「カルピカ」が獨逸にて発見
した廣告圖案中最優秀なも
のとして採用されたもので
ある。「カルピカ」社では此の
圖案を常に愛用した。大正
十三年。

健康は藝術である
カルピスの健康は――
下白濁、上白濁も
執務に
遊藝に
宴會に
家庭に
門外漢上の設備も早く

料飲強滋

カルピカ

「カルピカ」昭和二年
における廣告の二ツ

「カルピカ」が獨逸にて発見した廣告圖案中最優秀なものとして採用されたものである。「カルピカ」社では此の圖案を常に愛用した。大正十三年。

依然として化粧品廣告全盛

大正四年の廣告界は、依然として化粧品全盛であり、賣藥界は殆んど見るべきほどのものなく、居据り状態を示した。

又出版界においては、辭典類において相當の廣告が出た、め、少しく目立つものがあつた。尙此の年大正天皇御即位の大典を行はせたまふあり、その奉祝氣分において、廣告界に股賑を加味したことは争ふべからざることであつた。

化粧品界は、此年上半季に在つては、大して大きな廣告も出なかつたのが、下半季に入るや、急に一頁ものが續出した。「ホカー」「美顔白粉」「クラブ白粉」「クラブ洗粉」等それであつた。

化粧品界の競争益々烈しい中へ、此年「パール平尾」から「ラヂウム液」「ホーカー」「美髮液」「藤澤樟腦」の「香晶」「服部松榮堂」の「千代ぬれ羽」其他「美顔石鹼」「美顔ユー」之らは、何れも競争的に大廣告を使用



大正五年頃進出
石鹼の廣告
「長足の進歩」

「うづまき石鹼美容元素」「アンチツラチン」等が進出して來た。之らの新聞のどの面も全く化粧品で一杯であつた。「クラブ化粧品」は、相變らず連續的に廣告をして、訴及を怠らなかつたが、此年新しい試みとして、クラブ御化粧練習員を募集した。

又「クラブ化粧品」は、東京電氣局發明の光線空中探射器を買收し、數寄屋橋畔で之を實驗して、宣傳を行

つた。之は霧を空中に吹上げてそこに雲霧體のものを作り、之に光線を投射するものであつた。

七〇二

クラブ齒磨本店の 日本で初めての試み

東京市電氣局の世界的發明

空中に水を揚げてその水に文字繪畫等を映寫する

不思議の空中投射

クラブ齒磨本店において器械全部を譲受け毎晩六時より十時まで帝都丸ノ内有樂座前數寄屋橋附近の空中に映寫最新科學の驚くべき進歩を目證すべく夜の數寄屋橋北方の空中に注意せられよ



告廣るけおに頃年五正大の[水香ルツ][水香鶴金]ツ一の案圖

「ホーカー・スキート」と言ふ、ホーカー化粧品に因んだ

菓子が此年に出現した。化粧品と菓子の結合は稀なことであつた。又安藤井筒堂の「カオール」は、またま會を作つて、新富座へ進出した。

新化粧品續出

大正五年に入り、美顔白粉「美顔ユーマー」を初めとし、化粧品の一頁廣告を初め、大スペースを取つた廣

告は益々多く、殊に新しい化粧品として、丸見屋から「御園紙白粉日焦を防ぐ」「御園ルチゲン」「レート」の平尾贊平商店から「結晶香油ビクトリー」「純粹香油レート」椿香油「新式煉香油レート」ボマード等が賣出され、又松澤常吉商店からは「水晶透明おしろい」「新水晶煉おしろい」「同水白粉」を、藤原商店化粧品部からは「エグロ」ン石鹼同パウダー同クリーム等が進出して來た。而して「エグロン」は直に有樂座の「東西名人會」に進出した。各化粧品劇場進出は益々甚しく、どの劇場も化粧品のお土産で、木戸錢にお釣の出るほどであり、新聞は之ら化粧品の觀劇會の廣告で一杯と言ふ盛觀であつた。



ま]たし出進に座富新の[ル-オカ]年四正大告廣の[會またが

「美白美顔法白美散」が賣出された「美顔白粉」は此年代最も多く廣告面のスペースを使用し、下田歌子や跡見玉枝、江木欣々女史らの談話を派手に掲載して、同品を宣傳した。化粧品の宣傳に女流教育家を持出したのは之が嚆矢である。

此頃化粧品界は、歐洲戰亂の影響を受けて、その原料品の拂底に困じ、大抵の者は値上げを爲さざるの止むを得ざるに至

つた。堀越商店の「ホーカー」は、歐洲大戰勃發と共に豫め此事あるを見越し、原料の見越輸入をしたため、その不足を告ぐる無しとして、此際賣價の値上げはしない旨を廣告したが、之も遂に時代の大勢には如何ともする能はず、その後幾干かして値上げを爲すの止むを得ざるに至つた。

七〇三

此年「ゲソ液」が株式欄へ持つて行つて、廣告をして居た。之は化粧品として全く異數であつた。
 「高橋盛大堂」の毛染藥安全コクオーの進出も亦目につく一つであつた。
 「ライオン」本舗新築 「ライオン」齒磨本舗は、大正五年本所區外手町の厩橋々畔に、堂々たる新築をし



大正四年天皇御即位大典に際し
 丸見屋商店の奉祝一頁廣告

て、その新築の寫眞を當主小林富次郎氏の肖像と共に、二頁廣告を以て掲載した。
 「ライオン」齒磨の慈善券は大正三年分において二萬一百六十七萬四十一錢九厘を示した。
 「ミツワ文庫公開」 「丸見屋商店」は此年同店の機關雜誌「ミツワ文庫」を公開して廣く世間に提供する事となり、之を堂々新聞に廣告した。

廣告文案に新味

一體に此頃の廣告が大きく、と進みつゝ、ある傾向と共に、廣告主において、その廣告の文案内容に何らかの眞實を盛らんと努力しつゝ、あることを認められるのであつた。既に「ミツワ」家庭藥がその處

方を公開し、又「ミツワ」石鹼「花王」石鹼の廣告がその製品に對し、漫然と優越であるとのみ指摘せず、その科學的根據を指摘して、優越であることを證據立てる方法に出たことは、兎もすれば、徒らに空疎と浮華に



大正四年「御園白粉」の奉賀廣告



大正四年「固形淺田館」の廣告

流れ易い化粧品の廣告に對し、新味を投ずるものであつた。

ミツワ石鹼

純正の石鹼は亞爾爾保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも残留せず、更にフェノールフタレインを以て仔細に遊離の亞爾爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす

ミツワ石鹼は
膏に化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性状を具備す



大正四年十月三十一日御大記念日
専賣局の賣出たし[代千八]の廣告

- 一 原料を精選し、脂肪に香料に苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ゐず
- 一 温雅の芳香を有す
- 一 細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し、而かも浴室に用ゐるて半途に溶け崩るゝが如き憂なし
- 一 即ち一般の家庭に於ける、浴室化粧用として、衛生に適し、經濟に合する理想的實用石鹼なり

花王石鹼の廉價なる理由

花王石鹼の品質が高價なる舶來石鹼に比して、尙も遜色が無いことは豫て帝國陸海軍帝國大學赤十字病院等に於て嚴密なる實驗に依り採用せらるゝ事實に見て明瞭なことです

- 一 香料裝飾等に贅費を掛けぬこと
- 一 我が國一般の生産費が外國より廉いこと

一 特に舶來品に比し關稅及び運賃を要せぬこと

- 一 産額が多い爲め原料を一時に多く仕入れるので原價が廉くなること
- 一 副業として石鹼の廢液より多量のグリセリンを採取して販賣する爲め従つて石鹼の價格を輕減し得ること

尤もグリセリンは我が軍隊用にも供せらるゝ貴重品なるが産額少量なる工場に於ては此の副業は經濟上不可能のことです

右の理由に依つて廉價の良品となり産額が増大すればする程生産費に餘裕を生じ、原料の精選と品質の改善に努力して逐次循環的の進歩を見るので、すから花王石鹼の信用は畢竟

時下初秋、御清康の段奉賀上候、採辦備二十年來自家經營の事業に就き深く江湖に感謝するものあると共に、亦聊か御眷顧

腸胃病營養 小兒秘効 特便小

MALT-EXTRACT

スキエ汁ツルマ

各醫學科大學專門學校救病院御用品
諸博士驗報告申越次第贈呈

東京神田小川町通 和光堂
電話本館一六四八
電話東京一四九五

和光堂の「スキエ汁ツルマ」の廣告にあつては、小兒營養の劑としてよく賣れて居るは之を以て、大正五年頃のもの

需用者の利益なることを御承知の上、多々益々御愛用あらんことを懇望致します

東京馬喰町 長瀬商會
花王石鹼製造元

「ライオン」齒磨が「御兩親に奉る」と言ふ半頁廣告において、兒童の齒の健康保全について、切々の情を敍べたことも、珍らしい行き方であつた。「仁丹」の格言と共に、此時代における、藥粧品廣告界の一つの覺醒と言ふことが出来る。

御兩親に奉る書

ライオン 齒磨本舖
小林富次郎

に酬いざる可からざるものあるを確信し、我國民の通患たる歯牙衛生の爲め、最も純良なるライオン歯磨を提供する外、一昨年来ライオン講演會なるものを組織し、既に東京府下を始め、東北山陽九州四國地方の一部諸縣の小中學、師範、高等女學校、會社、工場等に於て歯牙口腔衛生の講演を爲し、専ら此思想の普及發達に努め、幸に識者諸君の激賞を給はる所となり、到る處意外の歡迎を受け居る次第に御座候。然も斯くの如き舉は其目的の高尙なると同時に、其趣旨の貫徹も亦頗る困難なるものあり。ライオン講演會のみ獨り大聲疾呼するも、尙ほ有力なる各御家庭の御同情なくんば、其目的の大部分は遂げ難きを覺え候。勿に思ふに御家庭に於ける令息、令嬢は朝夕及び食後寢前に於て必ず歯牙口腔の衛生を守り給ふや、又滿天下齒科醫諸氏が齒磨中最も完全優良なるものとして推奨せらる、ライオン歯磨を用る給ふや、乍恐奉伺上度、不幸今日の統計に據れば、全國少年兒童の齒牙疾患に罹れるものは實に其十の八九に上ると云ふもの、これ豈に寒心す可き危殆の現象に候はずや。試みに一例として最近東京市に於ける小學兒童齒齦検査成績を取つて見るも、此事實は否定すべくもあらずと存じ候、而して此狀態は日本全國如何なる地方に到るも大同小異にして、悉く戰慄す可き數字を示し居り候。大正三年三月東京齒牙醫學專門學校に於て東京市内六ヶ所の小學兒童の齒科に於ける齦蝕症蔓延の狀態を調査せしに、其成績次の如し。

〔川上齒科醫調査検査〕

検査人員 四六一三
 男 二、四三〇
 女 二、一八三

齒牙發生總數 一〇八六六一
 男 五、六、五、三、四、一、名平均二三本
 女 五、二、一、二、七、一、名平均二四本

齦蝕總數 一八、五、二、七
 男 九、九、八、五、二、名平均四本
 女 八、五、四、二、一、名平均三本

兒童の年齢は七歳乃至十二歳のもの、最も多數を占め十三歳乃至十四歳のもの、は百數十名、十五歳のもの、は十數名ありたり。従つて兒童一名の發生齒數は、乳齒の總數二十本に第一大臼齒六歳白齒四本を加へたる二十四本にして、大多數は未だ第二大臼齒の發生を見ざるものとす。

而して齦蝕數は齒牙發生數に對し、一七%を示し、男女共に發生齒數一名二十三本乃至二十四本の中、約四本の齦蝕を有す。即ち齦蝕を有せざる者一人もなき割合なり。

若し斯くの如き狀態にして進まむか、兒童の心身は愈々害せられ、其體育と學業とは如何なる悪影響を被るも知る可からず、殊に婦女子に在りては、あたら天稟の美容を損じ、終生の悔を貽すものも尠からざる譯に御座候。然も一般大人にして食物消化の機能十分ならず、營養不良に陥れるもの、多くは、即ち兒童期に於て口腔衛生を顧みざりし結果なるを思へば、如何に各家庭に於て兒童に對する齒科衛生の喫緊なるかを知らべしと存候。

全く以上の次第に候へば、齦蝕の少年兒童を犯せるは洵に

御大典奉祝廣告

高峯博士發見胃腸新藥
ゼータスアヂカタ
 星り書説 町室京東 星り書説
 注り品類 社會式株共三 星り書説

用使を欄報雜はに頃年五正大は「ゼータスアヂカタ」
 告廣同るけおに代年同は之。たし告廣にり類てし

國民の危機として御洞察を給はりたく、隨つて各御家庭に於ける齒科衛生に對する特別の御注意又は適當の御施設ありて、弊舖のライオン講演會を起し、波々齒科衛生の普及に励めつゝ、あるを御諒察ありて何分の御同情と御援助とを給はり候は、實に弊舖の幸福のみならずと奉存候。謹言

尙々右に對し御同感の各位の中、既に齒科衛生の爲め御實行の方法にして、特に効果ありと認められたるもの、又は斯くすればよからむとの御意見有之候方は、何卒弊舖宛御高示願上度、弊舖は御高示に由りて國民の齒科衛生が必ず一段の進歩を計り得るに至るべきを信じて疑はず候。

(大、四、九、三)

大正四年大正天皇の御即位大典を奉祝記念するために、煙草專賣局では「八千代」と言ふ巻煙草を賣出し、久しぶりに官業煙草の圖案廣告を出した。奉祝の誠意の籠つて居るためか、此圖案の出來榮えは立派なものであつた。森永製菓では「萬歳ヌガー」の記念賣出しを行つた。

御大典奉祝の一頁廣告は「ミツワ」の丸見屋商店クラブ美の素洗粉「御園化粧品」の「御園白粉」等によつて爲された。何れも奉祝の赤誠をこめ奉つた絢爛たる出來榮えのものばかりであつた。

總選舉と廣告文案

醫學者の推薦の牛乳飲用者 最大の幸福者

日本の學者が日本の小兒の爲めに特に創製せる
他に比類なき完全無味の牛乳混和小兒營養料

滋養糖

子供印

國産品上質

木商商店

東京一丁目

大正五年頃味の素の味
木商商店よりの賣出し
滋養糖の廣告

同年總選舉が行はれた。その總選舉に結付けた廣告文案も尠くなかつた。その二三を掲げる。

元氣を増す

ポケット入 大金十五錢
小金五錢

森永ミルクキャラメル

愛用者は 野外運動に 遠足に
必ずチャンピオンたるべく
將に來らんとする總選舉に
必ず優勝者たるべし
事務家、外交家、音楽家等に
缺くべからざる必需品なり

正義は常に勝つ

一時を糊塗する不正は其效なし
品質を偽る商品は遂に滅ぶ
忠良誠實常に國民衛生と國家經濟とに一致せる

ライオン齒磨は

開票の結果最高點を以て當選と決せり

藥品界は大體居据り

大正四年の藥品界は、比較的不振であつた。之は化粧品界の隆盛に威壓されたものであつた。目立ちたる廣告は「仁丹」以外に發見されず、現狀維持と言ふところであつた。

「固形淺田飴」は古くより知られた家庭藥であつた。そうしてその廣告も何となく漢方臭く感せられ

るのであるが、此年に現はれた同品の広告は、極めて洗煉された瀟洒なものであつた。

大木合名では、此年神経衰弱の薬として「マルク」を賣出した。

大正四年の薬品界は不振と言ふべきであつたが、大正五年には多少の進展を示した。丁度此年虎疫の發生を見るあり、その豫防として「アイゼル液」や「三共の乳酸菌製品」ラクトスターゼ等の廣告が頻載された。「泰昌製薬」の健胃消化錠「ゴルフ」の進出も此頃である。婦人薬としては此年間「大正製薬」から「ニシタレボン」橋本健藏商店の「婦人の寶」の進出あり、「ホシ胃腸薬」の廣告も此頃出盛りを見た。又小兒便秘特



大正五年頃の「ハカリ印」の「リプ丸」の廣告

「仁丹」は大正四年支那廣東に災害あるを聴き、「仁丹」十萬包價格一萬圓を寄贈して罹災民を賑恤した。

支那廣東省大水災に付き

日本救濟團よりの急電により

金壹萬圓 仁丹 拾萬包 義捐 送濟 報告

大正四年七月

見よ、近來の快著
山本實彦先生著
和野田垣博士英譯

我觀南國

評好大

定價金一圓五十錢

東京 實業所

〔改〕社長山本實彦氏の著名『我觀南國』の一頁廣告である。大正五年

一今回廣東省に起れる大水災は空前の慘狀を極め罹災民四百萬を超へ早くも悪性コレラの發生を見る。轉た悲痛同情に堪えず、時方に盛夏に入り赤痢、チブス等猖獗ならんとし、仁丹の必要愈々緊急なり

たるが

今や、我外務省御賛同の許に急遽邦船コロソボ丸にて仁丹十萬包

を送了せり

此一事以て罹災者を救恤し善隣の誼を一層深厚ならしむるを得ば是れ皆平素仁丹愛用諸賢の賜にして本舗の光榮之れに過ぎず

尙「仁丹」は此年孟買漢口天津爪哇の各地に支店を設け、その旨を一頁廣告を以て披露し又偽造仁丹驅逐の爲め左の如き廣告を爲した。

商標の侵害に關し敢て天下に檄す

品質の選擇を生命として鑑製せる懷中藥仁丹は今や其隆名海の内外に發揚し一ヶ年の賣上高金五百萬圓に達せんとする盛況を羨むの餘り粗悪品に類似商標を附し世を欺き顧客を賊するの徒日に多きを加ふ。茲に於て本舖に之が防遏策として仁丹に關して二百六十三種の登録商標權を獲得せるを始とし百方苦心力を可及的人

富山縣賣藥同業組合長富山市會議員 某氏
富山縣賣藥同業組合事務長 某氏
富山市選出代議士 某氏

の三氏相携へて本舖を訪はれ懇談の末本舖は法の糾彈を仰がず且全然無償にして唯再犯せざる事を條件として寛容し無事を



大正五年の新年披露大會の出賣のしるし [やましかた] 吳服店の新築披露大會の出賣のしるし

を損ねざらんことに注ぎ飽く迄温和手段に依り處理せんことを期せしも已ぬる哉恬然恩に狎る、彼等は反比例に激増し最近京都に發見せし仁丹偽造の如き京都區裁判所檢察局の起訴する所となり遂に去月十三日主犯者は六ヶ月共犯者二名は各二ヶ月の懲役に處せられ
兼には富山市に於て店數九十軒にて百二十六種の多き仁丹侵害を發見し爲めに

落着せしめたり是亦本舖の追求せしに非ずして該侵害者相互に研究の結果侵害の事實を自認し前記代表者を特派し自發的に其非を正せしなり
以上は一例なるも尙全國に涉りて探査せんか其數幾何なるを知るべからず眞に浩嘆に堪えざるなり。慙くして猶放任せんか膏に我仁丹の廉價を失墜せしむるのみならず滿天下仁丹愛用諸彦に對する本舖の責任を如何せん。

則ち斷乎涙を揮ふて馬鞭を斬るの決意に出で左の方法に依り國法の制裁を仰ぎ仍つて以て之が鑒戒を期し此重責を全うせんとす
一、現に侵害しつゝある向は本月三十日迄に現在品の全部を添へ申出でらるべし本舖は其自發行爲に對し既往を咎めず且つ名義を秘し好意に寛容す
二、五月一日以後當分の間仁丹に類似せる商標の賣藥若くは仁丹の偽物を御發見相成し節は五包を買取り左記顧問辯護士迄御郵送被下度同一のものは先着に限り本舖に於て審



大正五年の「櫻正宗」の櫻譜の廣告

査の上實費の外金壹圓乃至壹百圓の謝金を呈し且つ責任を以て御名義を洩すまじく候
大正六年四月五日

仁丹本舖 大阪市東區北久太郎町

森 下 博 藥 房

法律顧問 同市北區眞砂町

辯護士 特許辨理士 奥戸善之助

漢語

過つて攻むれば善之より大なるはなし

眞實に對して偽虚に熱し對して冷かなれ

常に汝の胸中に良心の光明を保て

虚偽は汝を永遠に亡す悪魔なり

伊太利金言

「味の素」とミルクキャラメルの一頁廣告

大正四五年に化粧品以外に一頁廣告を使用したものは「仁丹」を初めとし「味の素」であつた。「味の素」は大正四年五月に初めて一頁廣告を使用した。明治四十三年「味の素」が廣告を開始してから七年目で一頁廣告を使用したものである。

「森永」では此年「ミルクキャラメル」を賣出し、煙草代用として盛んに之を宣傳し、大正四年十月に至つて一頁廣告にまで進出した。「ミルクキャラメル」は、雜報欄の廣告を使用することが好きであつた。

「即席蜂カレ」 此時代大阪今村彌商店で即席蜂カレを賣出した。小さな廣告であつたが、妙に目をひく廣告であつた。

「子供印滋養糖」 「味の素」は大正五年に、國産子供印「滋養糖」を賣出した。

「チウイングガム」 「チウイングガム」の市場に現はれたのも此年であり、最初縦半頁大の廣告を以

て進出して來た。

出版界稍旺盛——大日本國民中學會

出版界では依然として「大日本國民中學會」が堂々たる貫祿を示し、上から下にかけて細長い棒様の廣告を以て、必ず紙面の左隅に位置して睥睨した。此年に主なる出版は「列聖全集編纂會」の「列聖全集」二十四冊、「通俗教育普及會」の「通俗叢書會員募集」、「國華社」の「西域考古譜」、「日本經社」の「西郷考古譜」、「日本經社」の「西郷考古譜」等であつた。同辭書は解説五千七百二十五、挿畫一萬一千六十七個と言ふ精緻なものであり、五冊四千三百頁、定價六十五圓、特價三十九圓であつて、我國出版界に在つては、重みのある事業であつた。



大正五年六月開始の廣告

大正五年には依然として「大日本國民中學會」が堂々たる貫祿を示し、上から下にかけて細長い棒様の廣告を以て、必ず紙面の左隅に位置して睥睨した。此年に主なる出版は「列聖全集編纂會」の「列聖全集」二十四冊、「通俗教育普及會」の「通俗叢書會員募集」、「國華社」の「西域考古譜」、「日本經社」の「西郷考古譜」、「日本經社」の「西郷考古譜」等であつた。同辭書は解説五千七百二十五、挿畫一萬一千六十七個と言ふ精緻なものであり、五冊四千三百頁、定價六十五圓、特價三十九圓であつて、我國出版界に在つては、重みのある事業であつた。

大正五年に行つて圖書界は前年に比し活躍の度が強かつた。「富山房」の「詳解漢和辭典」、「國民文庫刊行會」の「泰西近代名著文庫」、「金港堂」の「大日本國語辭典」、「早大出版部」の「漢籍國字解全書」十二冊、「電氣大辭典」、「三省堂」の「日本百科大辭典」、「同文館」の「經濟大辭典」、「金港堂」の「大日本國語辭典」等見るべきもの多く、殊に「民友社」からの「大正の青年」と帝國の前途は「徳富蘇峰翁」の憂國慨世の名著として紙價を高からしめた觀

標榜した日本電氣亞鉛機の如きものも相當多かつた。

宮田製作所の廣告

自轉車の「宮田製作所」ではその販賣店の「照井商店」の名において同製作所製出の「レヂアンス」號「國華號」
「ホーク」號「羽衣號」等の大廣告を出して國産獎勵の時代の要求に拍車を加へた。

レヂアンス號自轉車

國華號自轉車

ホーク號自轉車

羽衣號自轉車

他に此種の自轉車ありや

輸入防遏の絶叫國産獎勵の鼓吹を以て創業し今日東洋一の模範工場と仰がる、宮田製作所に於て製作し現代輪界の王たるべき實用車は此四大自轉車を措て他に求むる事を得ず、一度此種の自轉車を試みしものは五年十年終始愛乗家となる、是れ蓋し製作の巧妙體裁の美悉く完備せざる所なきと價格の低廉なるに拘はらず堅牢耐久を現實するに據る。

發賣元 東京 照井商店

「いとう呉服店」たかしまやの新築 大正五年上野の「いとう呉服店」が落成した。又「たかしまや」が新築してその披露の賣出しを行つた。それらにて此年の百貨店の廣告は股賑であつた。

新築中の
店舗の
落成



十二月一日より引移り開店仕候

淺からぬ御答願の餘榮幾重にも御禮申上候
今後一段の奮勵以て之に酬ひ奉るべく仰奉
開店當日より賜々御來駕の程奉願上候

十二月一日より
羽衣號陳列會
十二月五日より
大賣出し
御答用品を數陳列

御重寶なる
三種の
茶
品券調進

松坂屋
いとう呉服店
東京上野廣小路

上野松坂屋は、大正五年十一月一日新築の中、店舗
一部份落成開店を、之のその時の一頁廣告

基督教—櫻正宗瓶詰—サンエス萬年筆—大靈道—明治四年基督教が紙上傳道を試み、キリスト教網領として全三段の廣告を行つた。又「櫻正宗」の壘詰の廣告が優秀なる圖案を以て進出して來た。「帝

國鐘泉の「コロナ」も
亦此年に進出し、英國
製防水靴クリム・ヒ
ローが賣出された



「面白俱樂部」社談講
に頃年五正大の「部
ツ一の告廣るけお

明治初年から金庫
店として有名であ
る「竹内金庫店」は此
年機械製ペント式

七二二

金庫を賣出し、米國貿易會社は「ナショナル金銀登録器」を、又「中村商店」は「サンエス萬年筆」賣出しの爲め、相當のスベースを用ゐる。又左の如き方法を以て、獎學資金の提供をした。此年田中守平なる怪人物が、大靈道なるものを發明し、濱口熊嶽張りの怪異なる精神作用を以て、一世を驚倒せんとし、その大きな廣告を頻載した。同年又「富強世界社長高柳淳之助」なるもの出で、成功致富の道とは何ぞやと題して、株をやること、その捷徑であると煽動し、そのため全二段の廣告を連載した。

← 大正十四年「明葉」から賣出した「カルミン」

明葉の菓子

カルミン

新たにココアカルミンを發賣いたしました御愛用を願ひます。

明治製菓株式会社

C.4

← 大正十四年「明葉」の「キング・アイスクリーム」の工場が竣工した。

最新式の設備を有する

キング・アイスクリーム

工場落成

製造元 東京市京橋區南船場二丁目
明治製菓アイスクリーム工場
電話號碼三三三九番

← 「明葉」製品「メリー、ミルク」の大正十四年頃の廣告

卓越せる品質

メリー ミルク

明治製菓株式会社

← 大正十四年頃に非常な勢ひをもつて進出して來た明葉「リボンキヤラメル」の廣告

明葉の菓子

リボンキヤラメル

天下一品 人氣白熱

明治製菓株式会社

年表

大正六年 物價暴騰その指數は大正二年に比して二倍となり、八、九年には三倍に續騰す。工業藥品、染料等の騰貴最も甚しく、當業者盟廻しの奸策を以てその價格をつり上げ暴利を食つたが、政府は何らの干渉を試みず、今日の政府のやり方とは全く雲泥の差があつた。絹布用染料は二百四十八倍と言ふ暴騰を示し、銘仙一反二十八圓と言ふ馬鹿値を示した。鐘紡配當七割、富士紡五割の配當を爲す。日本郵船の最高値四百二十八圓、日本工業俱樂部設立、理化學研究所設立、造船獎勵金停止(即時施行)、東京上野に化學工業博覽會開催、綿絲暴騰、大阪綿絲定期市場二十三日迄休會七、二、一、暴利取締令制定即日施行、期米狂騰、市場休會、株式暴落、東京市場休會、横濱に全國製絲家大會開催、絲價維持策を協議、帝國サルヅエージ株式會社設立、銀輸出禁止、金輸出禁止、東京市、白米廉賣を實施

大正七年 米騰貴甚しく八月八日富山縣滑川町の主婦連により米騒動起り、全國に波動す。名古屋、神戸、岡山門司の凡てその感染を受く。政府も遂に穀物收用緊急勅令を發布して收用價格を公定し、高價を抑制した。十一月休戰成立、株價暴落、市場混亂、一般經濟界又大動搖を來した。

三菱鑛業株式會社設立、全國蠶絲業大會、操短を決議、滿蒙毛織株式會社設立、大日本紡績株式會社設立、本多光太郎、耐久磁石(K.S. 鋼)に關する特許を獲得、津市米穀仲買人の米買占に戒告、全國の米穀取引所動搖、米價二十七圓を超過、農商務省米穀の買占者に警告、期米崩落、東京、神戸、熊本等の各米穀取引所立會停止、颱風被害のため米價暴騰、米價三十圓を超過、米價亂騰、各地取引所立會停止、農商務省米の買占者に警告、米價更に暴騰、小賣相場一升一圓、東京府、朝鮮米の廉賣を告示

す 政府米價調節策を協議、米價奔騰、臨時米穀管理部設置、再び米の買占者に警告、米價暴落、米價暴騰、東京期米市場混亂、月末迄立會休止、期米再び奔騰、東京帝國大學航空研究所設置、東京市街自動車株式會社設立、東京乘合自動車株式會社の前身、野村銀行設立、富山縣中新川郡西水橋町に米騒動勃發、爾後各地に波及、御賑恤金三〇〇萬圓御下賜、米騒動に關する新聞記事掲載を禁止、東京臨時救濟會設立、山口縣宇部炭坑夫暴動を起し各地炭坑に波及

廣告統計

年次	前年ニ比 較増減歩		地域	藥品	合計	前年ニ比 較増減歩		化粧品	合計	前年ニ比 較増減歩		圖書	合計	前年ニ比 較増減歩	
	合	△減				合	△減			合	△減			合	△減
大五	五三、二〇四	一一、九	東京	一、七四九	一〇、八〇四	一七七	二、八一五	一、八〇八	一、八〇八	五、六八	五、八三八	三一、八	五、六八	五、八三八	三一、八
			大阪	一一、〇三	一〇、八〇四	一七七	一、三四七	一、三二七	八二	五、六八	五、八三八	三一、八	五、六八	五、八三八	三一、八
			地方	七、九五二			九、〇一六			三、四六一			三、四六一		
大六	六一、八七五	一六、四	東京	一、八一三			二、八八一	一、九八三	一、九八三						
			大阪	一一、二一八			一、六一二	一、五八六	二、〇〇	五、九二	六、三二七	八、四	五、九二	六、三二七	八、四
			地方	九、五九〇	一一、二六二	七、五	二、三六六	三、七五二	三、七五二						
大七	八七、九九四	四二、〇	東京	二、二七八			三、二七〇	二、二三二	二、二三二						
			大阪	一、四七七	一、六四五五	三〇〇	一、六七五	一、七四〇	九、七	六、四四	七、三七七	一、六五	六、四四	七、三七七	一、六五
			地方	二、七〇〇			一、三四三			四、五〇一			四、五〇一		

會社濫立時代

泡沫會社簇生

天下一品

滋味 日蓄のさけ謹詰
 低廉 日蓄の塩蔵鮭鱈
 珍味 日蓄の冷凍鮭鱈
 高級 日蓄の力に謹詰

日魯漁業株式會社

← 大正十五年時代進出して来た「日魯漁業」の謹詰一頁廣告

年産四千五百
日魯漁業
三大誇り
品質第一
衛生第一
味第一

からは俄然此形勢に拍車をかけ、大正七年歐洲大戰終熄と共に益々激甚を來し新會社設立日に夜を繼いで生じ、日日の新聞は之ら新會社の株式募集廣告を以て充滿するの有様であつた。

許特賣專

龜の子たわし

たわしの檢約は 非衛生です！

龜の子たわしの御設備

右七種の龜の子たわしは、はたし、専用として、加刷の標記にも、新しく、お求めに、なされる、が、ございます。

本 館 西 尾 商 店

西「たれらめ擴賣にん盛らが頃年七正大 期初の「しわた子の龜」の「店商尾

猫イラス

たけ掛け投に問世を題話のろいろいにおに味意る或
=年七正大= るあで告廣の期初の「ズライ猫」

びたやちつ

如場工大十の營經社當 何故
設備あり 品質良し

の告廣欄報雜の「びたやちつ」
でん好は袋足此、るあでつー
。たし用使を告廣欄報雜
=頃年七正大=

大正五年頃より、歐洲戰爭の好影響を受けて、インフレ的現象を生じ、爲めに經濟界には新會社濫立の傾向を呈し來つたが、此年では未ださまで甚しき情勢には立至らなかつた。然るに大正六年に入つて



→ 「九金醤油」の米國野球チーム歓迎
廣告 昭和六年



→ 「松下商店」の純國産甘味「やばしん葡萄酒」の廣告
昭和九年



→ 大正八年頃に進出して来た
「ラクトゲン」の廣告

併し此ために、新聞廣告面は非常なる殷賑を成した譯であり、前年に比し此種廣告行數において實に三割強の増加を示したのである。

新會社の中には泡沫會社も多かつたが、我國の經濟界は實質的にも大發展を示すあり、大資本を以てする事業が着々と展開されて行つた。淺野造船所、山下汽船も此年代の開業であり、川北電氣企業の進出も亦此年代で堂々二頁廣告を以て宣傳を開始した。「マツダ・ラムプ」「ニッコー印カーボン・ペーパー」梁瀬の「ビッグ自動車」「日本タイプライター」等の廣告界に對する進出も此時代において華々しきものを成したのである。

出版界の殷賑——主婦之友創刊

出版界も亦此年代
相当量の發展を示し
て居る。先づ此年代
最も記憶すべきこと
は徳富蘇峰氏の大著
「近世日本國民史」の第
一著「織田史時代前篇」
が世に出たことであ
る。又新潮社の進出



「明治自動車」の氣の利
大正七年 = 案圖

目立ちて著しくその
出版になる明治大正
の傑作全集、代表的名
作選集が八十萬部を
賣盡し、尙ドシ〜と
販賣される盛況に在
つたことだ。大正七年
に「中外」と言ふ雑誌が
發刊され一頁廣告を

近世日本國民史 織田史時代前篇

徳富蘇峰 著 第一卷 第一分冊

發行所 友友社

大正七年一月一日發行

定價 五拾圓

徳富蘇峰氏の「近世日本國民史」第一卷第一分冊「織田史時代前篇」が、大正七年一月一日に發行された。この書は、近世日本の歴史を、織田氏の活動を中心として、詳しく記述している。その内容は、織田氏の生涯、その政治的行動、その文化政策など、非常に興味深い。この書は、歴史愛好者だけでなく、一般の読者にも、大変有益なものである。友友社より發行された。定價は五拾圓である。

THE TOKYO ASAHI (日朝新聞) 大正七年一月一日

家運繁榮號

新刊特選

美人研究 運命開拓の實例 我家正月 開運獨占 幸運を得た經驗 面白讀物 額面用の美人畫

大正七年一月一日發行

「主婦の友」創刊早キメキメと進出し來て大正六年頃の廣告である。

名譽第一 助福足袋

大正七年一月一日發行

「助福足袋」は大正七年頃の猛烈な進出に來て之の最初の廣告
の「大正七年」

以て紹介されたが、成績はよくなかつた。「六合館」では、尋常一學年より六學年までの「興國課外讀本」を發行し、神田有朋堂では、有朋堂文庫百二十冊の提供を行ひ、三省堂では業務發展記念特賣を發表した。此外、國家興亡史論叢書「近代文藝叢書」漱石全集「民友社創立三十年紀念特賣」杜甫と彌耳敦「蘇峰文選」大正の青年と帝國の前途「洛陽堂圖書」大特賣實驗「化學工業三冊」十五圓の發賣丸善の新改訂増補版「センチュリー」辭典兼

り、強壯劑界を風靡するの觀あり、藤澤商店は此一劑を以て尙且つ巨萬の富を重ねたと言はれ、則ち同店のドル筈として出現したのであつた。

新化粧品品の進出

「ライオン齒磨」の本舗、小林商店は、大正七年九月を以て株式会社を改組した。「ライオン齒磨」が萬歳齒ブラシを賣出したのは此年代である。又「ライオン」水齒磨を賣出するために一頁廣告を以て宣傳を開始した。化粧品界で



告廣の頃年七正大の[冠桂月]の[屋治明]

は「桃谷順天館」の廣告依然として旺盛を極め、美顔白粉は二頁つゞき廣告を又、美顔「ユーマー」は不斷一頁廣告を以て訴及する傍ら、新に「美顔洗粉」を賣出し一頁廣告を惜し氣なく使つて宣傳を開始した。「博仁房」は、此頃新たに白色淨血劑「ペーリン」を賣出し相當量のスペースを使用して訴及を開始し、その進出力は此時代に目立つものがあつた。矢野芳香園の「白色美人」となる不思議の乳劑「美乳」平尾バー

「ル」より發賣の「ビルヂング石鹼」濟生堂製藥所より發賣の「白色美身強壯劑ハルナー」西田博士發見の「ゲンダイ液」松澤ホーサン石鹼「玉置合名」の「ヨーヂ水」横田化學工業研究所の「洗粉イナビット」此他「マスト石鹼」「ロメオ石鹼」等何れも目立ちたる進出を示し、「安藤井筒堂」の「カオール」「白毛赤毛そめ君」代も亦此時代、その進出量を著しく増加して來た。更に「ホーカー」は羽田に「ホーカー」海水浴場を特設して、大々的に宣傳に使用した。



出りやに烈猛を出進に頃年七正大 告廣の[ビタニオ]たし

として改組した。尙、東京菓子株式會社の設立されたのは大正六年十一月二十三日である。銀座の「龜屋鶴五郎商店」では、佐伯醫博の「ビータ」を賣出し、人形印「ミルク」も亦此頃頻りに進出して來た。「大木合名」の「ドロップス」と「アメ」の二種類を具備した「ママー」も亦旺盛に訴及した。太靈道の四頁廣告 此年代、怪奇の人物として夙に目されて居た田中守平が太靈道なるものを宣

本會長從一位大勳位侯爵大隈重信
重信閣下二月十日午後六時薨去一月
十日午後六時薨去一月十日午後六時
右會員諸君に哀悼を致す
帝國飛行協會

本會長從一位大勳位侯爵大隈重信
重信閣下二月十日午後六時薨去一月
十日午後六時薨去一月十日午後六時
右會員諸君に哀悼を致す
帝國飛行協會

本會長從一位大勳位侯爵大隈重信
重信閣下二月十日午後六時薨去一月
十日午後六時薨去一月十日午後六時
右會員諸君に哀悼を致す
帝國飛行協會

本會長從一位大勳位侯爵大隈重信
重信閣下二月十日午後六時薨去一月
十日午後六時薨去一月十日午後六時
右會員諸君に哀悼を致す
帝國飛行協會

本會長從一位大勳位侯爵大隈重信
重信閣下二月十日午後六時薨去一月
十日午後六時薨去一月十日午後六時
右會員諸君に哀悼を致す
帝國飛行協會

從一位 侯爵 大隈重信
病氣之處一月十日午
後六時薨去致候此段
謹告仕候
大正十一年一月十一日
關子 大隈信常

大正十一年一月十一日
關子 大隈信常

本大學總長侯爵大隈重信閣下
本月十日午後六時薨去一月十日
午後六時薨去一月十日午後六時
内ニ於テ告別式ヲ行ハルル
ニ付本大學ハ後葬ヲ禮ヲ以
テ送葬ス教職員及ビ學生諸
君ハ同日午前七時 校友諸
君ハ八時マデニ本大學ニ參
集セラレタシ
大正十一年一月十一日
早稻田大學
早稻田大學校友會

本會會長大隈侯爵閣下一月
十日午後六時薨去被遊候此
段謹告仕候
大正十一年一月十一日
大日本文明協會

↑ 日本新聞における死亡廣告として最も大きかつたものは、大正十一年の大隈重信侯の死亡廣告と、昭和十四年における各務謙吉氏のそれであつた。四段抜きに大活字を以てした死亡廣告は如何にも大隈侯の終焉を報ずるに、ふさはしい氣持をさせた。

四月一日

日本ゼネラル・モーターズ株式会社は、昭和二年四月一日に、その大正工場を開設致します。この事たるや、日本自動車史上、一新紀元を劃するに到るでありませう。

日本ゼネラル・モーターズ株式会社は、大日本帝國法規の下に組織せられ、自動車製造者として世界的指導者たる合衆國ゼネラル・モーターズ株式會社の絶大な援助を受けて、帝國工業の一員と成りました。

ゼネラル・モーターズ株式會社は、六十三の製作及び分配を司る會社を支配して居ります。この内最もよく知られて居るのは乗用車及び貨物自動車を製作せる八會社で、上圖はその放熱器上の象徴であります。

ゼネラル・モーターズの乗用車及貨物自動車は、ビウイク、シボレー、カデラック、オーズモビル、オートランド、ボンテアク、ボクスター、シボレー貨物自動車、及びG.M.C.貨物自動車であります。

ゼネラル・モーターズの乗用車及貨物自動車の販賣数は、昭和元年のみに於て、合計百二十萬三千六百餘に上つて居ります。

ゼネラル・モーターズ株式會社の總資産は二十億圓を越え、その資本金及び準備金は併せて十二億圓を突破して居ります。

日本ゼネラル・モーターズ株式会社



昭和二年頃「日本ゼネラル・モーターズ」は「フォード」に對抗して、猛烈に進出して來た。之は同社の大阪工場營業開始の廣告。

年表

大正八年 一旦招徠した商品下落時代の反動來る 羅紗洋紙最も騰貴し、背廣洋服の一寸したものが百三十圓より五十圓 古新聞紙も一貫目四十錢から五十錢に賣らる 生糸戦前八百圓のもの最高値四千三百六十圓 國民生活脅威を受くること甚しく遂に暴利取締令の發布を見る 期米大暴落 更に米價騰貴す 物價調節の施設方針を發表 期米暴騰 東京市場立會休止 帝國飛行協會主催第一回懸賞郵便飛行東京大阪往復舉行 東京各新聞社工場同盟休刊 前島密歿す

大正九年 鐘紡大正二年百八圓平均のもの此年五百七十四圓を示す 大正四年より此年までの六ヶ年間の事業計畫資本は百四十四億に垂んとす。日露戦後八ヶ年間の計畫資本は三十八億に過ぎず 物價昂騰のため輸出の減退を來し又歐洲戰亂のため各國の疲弊甚しく我邦の海外輸出は自然不振となり、無茶苦茶な企業資金に金融市場の金は拂底を來し金利暴騰銀行の手形割引日歩三錢五厘を示す 此年三月十五日株式大暴落四月大阪増田ビルブローカー破綻 パニック各地銀行に及ぶ 日銀救済資金一億二千萬圓の貸出を決定したが、パニックは鎮靜せず 生糸此年三月の三千三百八十圓より七月の千百圓に 綿糸は六百四十九圓より二百二十圓に 株式は東株三月の五百四十九圓より百圓に 鐘紡も五百五十三圓より百六十六圓へ暴落 大正九年より十三年に至る銀行會社の減資解散資本二十五億を算す 日本曹達株式會社設立 片倉製絲紡績株式會社設立 日東蓄音器株式會社成立 淺野造船所設立 東華紡績株式會社設立 豊橋及福井の機業家、市價暴落のため二十五日より一箇月間休業四二〇 財界恐慌、諸株、期米、綿糸、生絲各市場大暴落、翌日及翌々日立會停止、三一五 大丸吳服店設立 茂木合名會社破綻 七十四銀行休業、横濱取引所立會停止 電話度數料

金制度を六大都市に實施—航空局設置—大阪シンデイクート銀行株式市場救済資金貸出を決定—
 總理大臣、財界救済を言明—各地に銀行取付類發—日本銀行、砂糖會社に資金融通を決定—兩毛機業
 地手形支拂の三十日間延期を決議—日本銀行の財界救済金一二〇〇〇萬圓と決定—株式市場救済
 のためシンデイクート銀行團成立—左右田銀行及同貯蓄銀行取付—政府財界救済のため國債現金
 償還、日本銀行をして資金融通に決定—高橋藏相財界の徹底的救済を聲明—日本銀行、綿絲救済策と
 して輸出綿絲に資金供給—流行性感冒猖獗—第一回國勢調査實施—尼港事件—シペリヤ撤兵を聲
 明—間島事件勃發

廣告統計

年次	前年比		前年比		前年比	
	較増	較減	較増	較減	較増	較減
大七	八七	九九	四二	〇	二二	二七
東京	二二	二七八	三二	七〇	二二	三二
大阪	一四	七七	一六	四五	三〇	〇
合計	一四	七七	一六	四五	三〇	〇
地方	一一	二七	〇	一三	四六	三
東京	二	九一	三	二六	七	〇
大阪	二〇	六四	二四	五四	八	四九
合計	二〇	六四	二四	五四	八	四九
地方	一九	五七	一	六〇	八	六
東京	三	六二	四	三四	五	三
大阪	二	六二	三	二七	二〇	一
合計	二	六二	三	二七	二〇	一
地方	二〇	九五	四	一七	三	六

藥品の驚異的進出時代

新會社の設立依然多し

大正八、九年において、最も驚異的の進出を示したのは、株式會社の設立に伴ふ新株式募集の廣告の依
 然として旺盛を示したのと、賣藥界の廣告の大進出であつた。のみならず化粧品界も亦依然として進
 出旺盛を極め、圖書の進出又特に著しきものあり、歐洲戰亂の好影響は益々甚しく新聞廣告の上に反映
 を示して來たのである。

新進出の藥品

友田合資のフアゴール—カルモチン—有田ドラツグ 藥品界は大正七年において、著しく減退を

示した右は新藥品の進出に乏しかりしと、既製藥品の訴及が、一寸一服と言ふ態勢を取つたからであつ
 た。然るに大正八、九年に至つて、藥品界は俄然進出活躍を開始し、七年に比して、非常なる猛勢を示した。
 之は藥品界において、新製藥品が夥しい數に上つた、ゆゑである。

此年代、中將湯は、商標模擬の圖案懸賞を行つて、その結果を新聞紙上に發表した。同時に例の大廣告
 を矢繼早に掲載し、その圖案も亦非常に新らしいものを使用することになつたのは、同藥品として注意
 すべきことであつた。

新藥品としてどしどし進出して來たものは大阪「富松武助藥房」の婦人藥「安神湯」「富士製藥」の新藥「エル

モール「荒川長太郎商店」の「神疇湯」友田合資の「肺核新薬」フアゴール「武田長兵衛商店」の「脚氣特效」スベルリン「三共」の「滋養強壯劑」グリコナール「及結核解熱劑」エルボン「チバ」小西久兵衛商店の「體育保全補血強壯劑」フェロー「武田長兵衛商店」の「睡眠劑」カルモチン「及新滋養強壯劑」レグモン「高橋盛大堂」の「くだり止め」清腸「津村順天堂」の「小兒活カ素」童丸「玉置合名」の「腦鼻液」和光堂の「ベルミン」大阪「和田卯助商店」の「ワタカルシユーム」丹平商會の「小兒解熱劑」オイン等で「有田ドラック」の進出も亦その一つに算へねばならぬ。此外「大正製藥所」の「體素」小松持の「くすり」參天堂の「ヘブリン丸」武田長兵衛商店の「ピオフェルミン」玉置合名の「ヨーヂ水」等も頻繁に訴及し「咳止めボン」も亦此頃類



大正八年頃における越前商店の「ホーカール」の廣告

りに進出を示した。右に記した「有田ドラッグ」の記事廣告は、一日の紙上に二頁を費やしたこともあり、日本の廣告史上に一つの記録を止めたものである。而して「仁丹」の大廣告に至つては依然として舊の如く一頁廣告を間斷無く使用してその威力を示し、又社會情勢を怠り無く注意して、之に乗ずるの廣告をして居たことは、誠に感服の外なかつた。

東洋アスベストの「石綿繻帯紙」 此年「代東洋アスベスト株式会社」では「石綿繻帯紙」なるものを發明して賣出した。

三店舗の新製品

「プラトニンキ」 化粧品では「中山太陽堂」が新に「カタイ石鹼」「クラブ香油」を賣出し、又化粧品とは縁遠い「プラトニンキ」を賣出した。又此年代富士の絶頂に、得意先

の代理店二百五十名を招待し、クラブ富士登山招待會なるものを催ふした。「ミツワ靴クリーム」 「クラブ化粧品本舗」が「プラトニンキ」を賣出したように、「ミツワ」では、之も化粧品とは縁の遠い「ミツワ靴クリーム」を賣出した。又「ミツワ雪の雫」が此年代進出を開始した。「ライオン常用日記」 「クラブ」の「プラトニンキ」「ミツワ」の「靴クリーム」等場違いのもの、賣出されたように、「ライオン齒磨」では、此年代「常用日記」を賣出した。



大正八年頃において猛烈に進出を開始した小兒活カ素丸の「一頁廣告」

「レート化粧品包装懸賞募集」 「レート」は「化粧品包装圖案懸賞募集」を發表した。一等は一千圓であり、全く従來類の無い試みであつた。此種の試みは、物資節約の聲の高い今日、頻りに行はれても宜さうなものである。又「レート・メリー」の標語を募集したが「肌なめらかに白くなる」と言ふの

が當選した。

新進出の化粧品

書畫鑑定法印譜落款集

書畫愛好家を驚かせし
むべき唯一の鑑定書！

全三冊一組 特價金廿貳圓

目録

一、現在存する著名家の印譜三百六十冊
二、古印譜三百六十冊
三、落款花押圖數二千三百個
四、現代大家の印譜七十冊

印章總數一萬六千個
落款花押圖數二千三百個

目録

一、現在存する著名家の印譜三百六十冊
二、古印譜三百六十冊
三、落款花押圖數二千三百個
四、現代大家の印譜七十冊

見本

興文社

大正九年に「興文社」の「書畫鑑定法印譜落款集」の廣告のあて。
趣のつた書籍のあて。

滋養強壯劑
ルネコリグ

佐伯醫學博士
士創製の本
前は貴重な
る養分の
適量を含有
する理想的
滋養劑なり
健胃、心臓
機能衰弱、
胃腸者、助
腸炎、肺結
核等に有用
特に本品は
盗汗を制止
する作用顯
著なり、説
明書贈呈。
▲百錢入
券圓拾五錢
所頒出
橋野平 大 社 會 式 株 共 三 町 室 東

大正八年頃における「ルネコリグ」の廣告網欄

「大阪弘濟樂院」の「フミナ液」此年代に賣出され、内外油脂の「ミスジ石鹼」も亦屢々一頁廣告を使用し、相當量のスペースを以て進出して來た。米國製石鹼の「パーモリブ石鹼」も此年代進出を開始し、「マスト石鹼」都の花石鹼木

舖野村外吉商店の「金鶴石鹼」も亦一頁廣告をもつて進出して來た。「田中善進堂」の「金鳥香水」も亦、相當量のスペースを使用して宣傳をした。又美顏劑「ホーカー・パット」が此年代賣出された。

**十大化粧品舖
の連名廣告**

此年代高物價時代の反動を受けて、諸物價は凡て低落を告げたのであつたが、化粧品の値段が一向に下らぬと言ふ聲が需要者側から起つて來た。そのた

め十大化粧品製造本舖は連名を以て廣告し、化粧品の値段を下げることに困難なる事情を訴へた。

出版界の活躍

出版界では「民友社」から「徳富蘇峰氏」の「大戦後の世界と日本」が出版され、又「新時代叢書」が發刊された。又「富山房」から「箕作元八博士」の「世界大戦史」が出版された。「岩波書店」の進出も此年代目立つて來た。辭書及全集ものの出版は相變らず此年代旺盛を極めた。

新潮社 改造

中央公論

雑誌界では「新潮社」の進出目ざましく、現代三十名家の代表傑作を初め「東京朝日新聞」月初めの第一頁の頭は必ず同社の新版廣告で占領されて居た。「改造」も漸次廣告のスペースを擴大して來たが、十年の新年號廣告には一頁を使用した。「中央公論」も漸次大きくなり、又「講談クラ

きし床り香

金鳥香水

小商店員
草集
來談

田中善進堂

大正八年頃における「金鳥香水」の廣告

「改造發行」大正八年において特記すべきことは綜合雜誌「改造」の發行であつた。その創刊號は同年四月三日發行されて居り「月刊政治經濟外交文藝雜誌」世界改造の秋來る——時代の要求は本誌を生むと標榜して生れたものであつた。併しその發生を告げる廣告は餘り大きからず、縦三段抜き横半段大のものであつた。「ブ」は、前年と等しく十年の新年號に一頁を使用した。

足袋の廣告頻載

「服装品では、足袋類の廣告の進出が著しく目立つて来た。あやめたび「まつみ足袋」つちや足袋「福助足袋」松井の「別珍足袋」等此年代に入り亂れて訴及に努めた。而して「つちや足袋」は、最初雜報欄廣告を使用して居たが遂に一頁廣告に進出し「福助足袋」も亦、さまざまの形態における廣告を以て宣傳した。

食料品も訴及に努む

カフェーパウリスタ 寶味林 ラクトーゲン 赤玉ポートワイン

「食料品」では「粉末かつを」の進出あり、一頁廣告にまで進出して来た。「味の素」の「鈴木商店」は大正八年六月川崎工場の増築完成を見るあり、一頁廣告を以て之を報告した。「カフェーパウリスタ」の「コーヒー・シロップ」一頁廣告にまで進出し「テーシー印」ポートワイン同「スパークリン・同」シャンパンが純國産葡萄酒を標榜して「帝國シャンパン株式会社」によりて、一頁廣告を以て新進出を開始して来た。

「寶味林」焼酎の進出又目ざましく、その圖案意匠に優秀なるもの多くを示した。「乾卯商店」の「ラクトゲン」も此時代に進出を開始し「赤玉ポートワイン」も亦、猛烈なる勢を以て、さまざまの圖案をもつて訴及して来た。「ネツスル・ミルク・フオード」の進出又目ざましきものがあつた。

「日英醸造」の「カスケード・ビール」の新進出は此時代である。一頁廣告をもつて堂々と進んで来た。「明治屋」でも亦「キリン・ポート・キリン・黒・ビール・月・桂冠」の三和洋酒を一頁廣告を以て訴及し「山邑」では新たに「正宗」の容器に「白磁器製」の氣の利いたものを使用することとなり、之を廣告した。

「カルビス」出現

初戀の味を初めて味覺の上に味はした「カルビス」の出現は此年代大正九年の十月であつた。後年之が廣告の意匠については、廣告意匠界を刺戟するに足るもの多かつた。

雜種廣告も旺盛

「山口治商店」の「ガーター」萬年筆は一頁廣告を以て出現し「龜の子たわし」は「ムツマサ・クリン」なる食器洗滌劑を賣出した。

「川地モートル」は、此種の廣告としては全く型破りの極めて碎けた軟かい圖案を以て訴及をした。工業製品の廣告としては珍らしいものであつた。

大正九年十月一日に國勢調査が行はれるため「臨時國勢調査局」において、その實施前に、



オニタビの[ビタニオ]の大正八年頃における廣告の一例

一頁廣告を以て國民に豫備知識を與へたことは、官僚のやり口としては奇特な親切な行爲であつた。

活動寫眞スペース増大

開校廣告
 今般東京府ノ認可ヲ得來十月廿一日開校ス但シ地方入學志願者ハ臨時試驗ス可シ
東京専門學校

廣告
 來ル十一月ヨリ入學試驗施行ス
 南豊島郡 東京専門學校
 下戸塚村

早稲田大學 大特價 提供
 五十周年記念

坪内逍遙博士譯

ハムレット	ヘンリー八世	ヘンリー四世	ヘンリー五世	ヘンリー六世	ヘンリー七世	ヘンリー八世	ヘンリー九世	ヘンリー十世	ヘンリー十一世	ヘンリー十二世	ヘンリー十三世	ヘンリー十四世	ヘンリー十五世	ヘンリー十六世	ヘンリー十七世	ヘンリー十八世	ヘンリー十九世	ヘンリー二十世	ヘンリー二十一世	ヘンリー二十二世	ヘンリー二十三世	ヘンリー二十四世	ヘンリー二十五世	ヘンリー二十六世	ヘンリー二十七世	ヘンリー二十八世	ヘンリー二十九世	ヘンリー三十世	ヘンリー三十一世	ヘンリー三十二世	ヘンリー三十三世	ヘンリー三十四世	ヘンリー三十五世	ヘンリー三十六世	ヘンリー三十七世	ヘンリー三十八世	ヘンリー三十九世	ヘンリー四十世	ヘンリー四十一世	ヘンリー四十二世	ヘンリー四十三世	ヘンリー四十四世	ヘンリー四十五世	ヘンリー四十六世	ヘンリー四十七世	ヘンリー四十八世	ヘンリー四十九世	ヘンリー五十世
-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------

早稲田大學 大田義講

法律講義	政治經濟講義	文藝學講義	中學講義	女學講義	商業講義	建築學	電氣學	工業學
------	--------	-------	------	------	------	-----	-----	-----

明治十五年早稲田大學が東京専門學校の名において開校した時の廣告
 郵便報知
 早稲田大學は昭和七年創立以來五十周年を迎へた之を記念する同大學の大特價廣告である

早稲田大學講義錄へ
政治經濟講義
法律講義
文學講義
中學講義
商業講義
高女學講義
 新學年開始
 早稲田大學出版部

告廣の頃年四十五大錄義講大六部版出大早

富山房 國民百科大辭典
 卷二十全

けふ國家創業の佳辰に獻く
富山房五十年記念出版
 全國民翹望のうちに愈々出づ!!

富山房五十年記念出版「國民大辭典」の廣告
 昭和九年



大言海
 感謝!!
 大言海は太陽のごとく
 燦爛として全國民の
 頭に輝き渡つた!!
 特價期間を五週延長す!!

「富山房」の「大言海」發賣廣告の一ツ
 昭和七年

大正十五年における「富山房」の廣告

巽軒叢書
漢文大系
名著文庫
模範家庭文庫

會業 通俗經濟講座

講壇經濟より 街頭經濟へ!!!

監修 太田正孝 堀江歸一
編輯 津村秀松 下村宏

科目と講師
政治経済 太田正孝
社会経済 堀江歸一
金融経済 津村秀松
労働経済 下村宏
その他 各講師

経済理論より 経済戦術へ!!!

内容見本 限り
発行所 日本評論社

→ 大正十四年「日本評論社」の「通俗經濟講座」會員募集の廣告

岩波學辭典

東朝日新聞

特價延期 一月三十一日迄

冬の日記抄
カント雜考
田園夏漫録
古事記日本書紀
山中雜記
支那上代論研究
沙漢は香紅花の都
發兌 岩波書店

→ 大正十三年における「岩波書店」の「岩波哲學辭典」の廣告

主婦之友

文化事業部を新設 講演音楽を以て婦人文化宣傳

婦人文化の爲に

社會奉仕の事業

詳細は三月號に

東京市神田區 主婦之友社
表神保町一番地

録倉病
北村昌郎

商金地.金白.銀.金
店力應

→ 「主婦之友」が文化事業部を新設した時の廣告

三、ラクトーゲンの廣告で何か面白い事は……

發賣五年後の大正十三年に、一般にラクトーゲンによる哺育の經驗談の募集をやつてゐます。之は夫迄の廣告への反省や將來の企劃に資する所大變多かつた様です。相當條件が六ツヶ數かつたにも拘らず、當時五萬近くも應募され非常な効果を擧げました。又東京大震災當時は大朝大毎を通じて數千箱の現品を罹災乳兒に寄贈し、此の廣告掲載に當つては紙型を大朝社の飛行機で空輸した事があります。紙型の空輸は恐らく始めてではないでせうか。

或は特定月の出産兒を対象として、其の成長するに従つて毎月其の月の發賣標準育兒法を一ヶ年間繼續して掲載した事などがあります。當時料金其他取引上色々な問題があつたので、相當冒險的でありましたが、最初の發表通り無事終了出来てほつとしたと云ふ事です。

年表

大正十年 黄燐燐寸製造禁止法公布(四、一、一七)施行 合同油脂グリセリン株式會社設立(昭和六合同油脂株式會社と改稱)帝國議會投賣米防止の決行を宣言不成功 米穀法公布 帝國蠶絲株式會社生絲を買入 尺貫法をメートル法に改正 米穀委員會設置 政府第一回一〇〇萬石の米買上を發表 政府投機抑壓の方針を言明 銀行貸出警戒 第一回國勢調査の結果發表(内地人口五五、九六一、一四〇人)友愛會、日本勞働總同盟と改稱 日英同盟廢棄 帝國水産會設立

大正十一年 石井定七破綻のため高知商業銀行休業、堂島米穀取引所大混亂、立會停止、東京、神戸、京都の取引所立會停止 獨逸廉賣染料殺到のため市場混亂、破綻者續出 株式一齊に暴落 期米三三圓に慘落 目黒蒲田電鐵株式會社設立 朝日新聞社東西定期航空會設立 四谷銀行休業 國勢院發表、國富八六〇億圓

廣告統計

年次	廣告總行數	前年比		地域	藥品	合計	前年比		化粧品	合計	前年比		圖書	合計	前年比	
		増減	歩				増減	歩			増減	歩			増減	歩
大九一三	一〇七七	二〇〇	△減	東京	三六二四	三三四五	三三二五	三三二五	三三二五	三三二五	三三二五	三三二五	三三二五	三三二五	三三二五	三三二五
大一一五〇	五一〇	一四八	△減	大阪	二六二三	二七二〇	一一〇	二一八五	二二、九九三	八八	一、四三五	一二、七四二	一六〇	七、五八二	四、七八六	九、九九〇
大一一五九	〇三六	五七	△減	東京	四、六〇一	三、九三一	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇
				大阪	二、六九一	三、四〇八七	二、五三三	二、二六六	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇
				地方	二六、八〇五	二二、〇〇三	四、四八〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇
				東京	五、〇九三	四、四八〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇	五、一三〇

大阪	二、七二六	三、六一四二	六〇	一九二六	二七、二九六	△三三二	一、七四四	一七、二七二	五四
地方	二八、三三二	二〇、八九〇	一〇、三九八						

東宮殿下御歸朝奉祝廣告

大正十年に特記すべきことは、御外遊あらせられた東宮殿下が此九月に御歸朝あらせられたことで、國民は凡てその御無事御歸朝を奉祝し申し上げ、自然その赤誠が奉祝廣告として、渺からず紙面に掲載されたことであつた。

又大正十一年には英國皇太子殿下が、御答訪の意味を以て來遊されその歓迎廣告が、新聞廣告面を潤はした。又上野にて平和博が開かれ、その受賞披露廣告が多数新聞に掲載された。更に此十一年十月に帝都大な頃で、その發行元である「大鏡閣」は、左翼臭味の出版に於て、景氣を示した。同書店から出版された

少女の犯罪

令女界

大正十一年一月一號

にコレラの襲來あり、ためにコレラ豫防を目標とする賣藥品の廣告が多く出た。

左翼出版

旺盛

大正十年の出版界は左翼に關するものが比較的旺盛に出た。左翼の雜誌解放が盛

ものに「世界文化史大系」ウエルス、「國民經濟講話」福田徳三博士、「特賣」マルクス全集、「高島素之驥譯」等があり、此左翼流行に對し國家主義を標榜して國本社から「國本」が出た。「アルス社」の進出して來たのも此頃であり、相當量の出版をして居る。「大倉書店から日本大辭典」「改修言泉を」「研究社」から岡倉由三郎、市河三喜兩氏主幹の「英文學叢書を」「富山房」「金港堂」から上田萬年、松井簡治兩氏共著「大日本國語辭典」を。「富山房」から大森金五郎氏の「大日本全史」を出版し「國譯禪宗叢書」十二卷も此年において完成した。「國譯漢文大成」全三十二冊の再版も試ふことである。



大正十年九月「中央公論」四百號紀念號の刊廣告

みられ會員募集の廣告が頻載され「有朋堂」文庫は十冊組合提供を開始した。「三省堂」の「模範六法全書」竹越三又の「日本經濟史」八冊五千八百頁と言ふ大著も亦出版された。此外肉筆東海道五十三次漫畫繪卷頒布會が「中央美術協會」から發表され、「至誠堂」では「創業十二周年記念販賣」として「名著傑作特價大提供」を行つた。改造社から出版した賀川豊彦の「死線を越えて」は此年代における此種出版物の賣れ大將であつたと言

雑誌としては「同文館」から「商學研究」が發行された。第一號は此年九月であつた。東京商大の職員や學生の編輯になるものである。

雑誌廣告漸次大きくなる 雑誌の廣告は漸次大きさを増し來り「改造」「中央公論」「婦女界」「婦人界」何れも目立つてその大を加えて來た。「中央公論」は此年九月を以て四百號の記念を發刊した。又大正八年創刊の「改造」は之に先立つて三月二十日三周年記念號を出し、一頁廣告を以て示威した。

大正十一年の出版

「東京堂月報」

大正十一年の出版界においては「新潮社」が二百圓を以て「マーク」を募集した。又「東京堂」が「新刊紹介」として「東京堂月報」なるものを、毎月一頁に近い大に賣出され「早大出版部」の坪内博士監修「國民の日本史」十二冊も亦此年に賣出された。「富山房」の吉田東伍博士「大日本地名辭書縮刷版」「改造社」の「アインシュタイン全集」「鷗外全集」刊行會の「鷗外全集」十八卷「花袋全集」刊行會の「花袋全集」「神田文雅堂」内大近松全集刊行會の「大近松全集豫約募集」「春秋社」の「春秋社出版泰西各論文選集」杜翁記念文庫等、凡て華やかに廣告され訴及された。



大正十年十月現行「有ツツミ」の廣告

きさの廣告でもつて訴及したことが新しいものであつた。「誠文堂」は此年「創業十周年記念大賣出」として、かなりのスペースを使用した。「興文社」の「桂月全集」は十二冊の完了を見て、盛んに

「精力素」の訴及

ルービンリキ
念記年十五造釀



最新古の歴史
最良の品質

試飲奉酒株式会社
株式会社明治屋

告廣頁一の念記年十五造釀[ルービンリキ]年十正大

七五〇

— 三共のフロー
チン —

此年代國民體
力改造同志會か
ら「精力素」なるも
のが賣出され、一
頁廣告、半頁廣告
を頻々使用して
訴及に努めた。
「三共」から「鎮咳祛
痰劑プローチン」
が頻りと進出し
「中央化學研究所
からは滋養劑「ヘ
モゾール」が出て

「仁丹」廣告費七十萬圓——ノーション出現

大正十一年二月十日の新聞廣告において「仁丹」はその廣告費七十萬圓なることを明記した。而して
仁丹體溫器名稱及標語を一名一千圓の懸賞にて募集した。

刊新最

模範六法全書

三省堂編輯所編纂

父發 堂省三

模]たし爲の[堂省三]に年十正大
告廣頁半の[書全法六範

「ノーション」の出
現は此年代であ
る。餘り大廣告
を爲さず、その代
り不斷廣告訴及
するを常用手段
とした。

「田邊元三郎」田

邊五兵衛兩商店から新發賣アルチエリー肝油を訴及し、又「大阪參天堂」では「健通丸」藤澤友吉商店では「キ
ナブルトローゼ」「ヨードブルトローゼ」を、橋本製藥會社では「胃樂散」を訴及した。尙「武田長兵衛商店」の「痔疾治
療劑ボラキノール」「バイエル・アスピリン」は、此年盛んに進出した。

「柏木チアスターゼ」「柏木驗溫器」の訴及も此年又旺盛となり、更に「齋藤滿平藥局」からは肺結核肋膜炎の
新治療劑「セルミン」が賣出された。又「三共」から脚氣新藥「オリザニン」が進出し、「南信堂藥房」からは腸内強
力殺菌新劑「ワカ末」が頻りに訴及した。

七五一

「ライオン慈善券」廢止



大正十年頃婦人界の雑誌の廣告が漸次大きくて来たのは之、
その頃の「婦人界」の廣告

此年代中山太陽堂の文具部が、等一千圓の懸賞金を以て、童話劇脚本を募集した。又ライオン齒磨の慈善券は、此年大正十年を以て、恰も二十年の歴史を重ねたのであるが、同店では、此年六月を以て之を廢止し、

新に「ライオン兒童齒科院」を作つて、社會奉仕を爲すことゝなつた。

伊東胡蝶園進出

化粧品にして此年代新しく進出して来たものは、伊東胡蝶園の「御園白露」「御園水白粉」「御園紙白粉」「御園の蒼」であり、又「丸見屋」では實用白石鹼を發賣した。「山岸三之助商店」の「千代田香油」も此年代旺盛に訴及した。

石鹼としては、「シバニ純石鹼」「フロード石鹼」「國華石鹼」「ナン石鹼」「ハリキン石鹼」等が新發賣又は猛宣傳を以て進出し來り、又「資生堂」は新に「過酸化水素クリーム」を賣出した。更に「日光社」からは、「ゼビー薬洗粉」を賣出した。

「平尾賛平商店」の一萬圓懸賞

此年代の化粧品界に在りては、中山太陽堂が創業二十周年に相當する爲め、之が記念事業として、十一月四月一日より四日迄四日間、大阪中央公會堂に於て記念講演會及音樂會を開催した。又「平尾賛平商店」では、産業立國奉仕を標榜して、一萬圓を投じて、化粧品及染料、藥品及滋養強壯劑、疾病療器、食料品、化粧品要具等の新發明を要求し、當選者には、一名二千圓を賞與した。又「平和博」においては、平和博主催のもとに、化粧品デパートを催ふした。参加者は、伊東胡蝶園、長瀬商會、中山太陽堂、小林ライオン、安藤井筒堂、丸見屋、平尾賛平商店、桃谷順天館の八商店で、景品は、金時計五十個を加へ、豪華なものであつた。

此年代「安藤井筒堂」の「安福石鹼」が進出し來り、「新橋資生堂」からは、「粉はみがき」が賣出され、又「レコード石鹼」が顔を出して來た。

飲料品界の進出品

食飲料品界では、「東洋釀造」の「富士ビール」「日英釀造」の「カスケードビール」や「カルピス」が猛烈に進出して來た。葡萄酒界では、「日本葡萄酒株式會社」の「ホワイト・ポート」が「明治屋」から賣出

足袋類頻りに出現

此年代服装品では「つちや足袋」補助足袋等の外に「日の本たび」アサヒ足袋「かぶと足袋」等が現はれ、又「大谷商店」から「ナショナル」が賣出された。

土地分譲廣告の先

土地分譲の廣告は昭和年代に入つて、廣告面の重要な要素を形作つたが、その發生は實に此年代に在つた。箱根土地株式會社がその先驅であつた。

最大の死亡廣告大



大正十一年頃「ルーベンオニエ」が恰も來
朝「たしパンズ」を利用した廣告

大正十一年 大隈侯が逝去し、一月大隈侯が逝去した。その死亡廣告は縦三段程度の豪華なものであつた。死亡廣告として最大なものは此大隈侯のものか。然らずんば昭和十四年に逝去した各務謙吉氏のものであろう。

グリコ「豆文」の辭

神戸商業大學教授 平井泰太郎氏

近頃は新聞を披くたびごとに「豆文」が楽しみになる様になつて來たのである。酒脱あり、忠義あり、子供の世界のスナック・ブ・シヨット、街頭のメロドラマ。ふふんと笑つて成る程ね、と云ふ様なのに一再ならず出會はすのが嬉しいのである。

全く仲々うまいことを言つてあるのである。韻を含む様でさにあらず。散文で書いても、あれだけ書けるのである。廣告文獨特の自己宣傳では人が得心するものではない。スローガンはぎこちなく、金言は野暮臭くないこともない。俳諧調は古びたり。川柳は下がつたり。冠句ものは附け語呂合せ、あれらはちつとちやらちやらして居る。自由律口語詩などと言ふものもあるが、氣取りすぎたり、よがりすぎたり。童話、童句、こいつは少々間、がのびて居るのである。つまり現代人の言葉で、生のままの現代社會相を書いたところに、觸れるものがあるのだらうと思ふ。廣告から出たと言ふところに、あきうと嫌ひの好みの人には、好かぬと言ふものもあるかも知れぬが、大阪からカナモジの町人文學。ぶん相應にまめで延びて行くやも知れず、よつとすると川柳のそれの如く、昭和の短文學の一形式として残るやうなことになるかも知れぬと言ふ氣がするのである。これを編み出したのもえらいが、近頃同好の士がふえて、どん／＼と盛り立てて行かれると言ふのも嬉しいことである。商賣氣もそれはそれながら、これを離れても折角精進を祈りたい氣がするのである。

グリコ一粒三百メートルの由來

グリコ株式會社 吉武顯氏

大體菓子といふものが家庭工業であつたのが近代的の工業になつたのは森永さんがアメリカから歸つて來られてキヤラメルをはじめられた、それが契機となつて、菓子工業がどうにか近代的の工場になつたといふことを聞いてをります。社長にグリコの一、粒三百メートルの理由を訊きますと、いろ／＼いふてをります。第一三百といふ言葉が強い、鐵砲を撃つ時でも千メートル撃て八百メートル撃てといふと力が入らない、三百メートル目標撃てツといふと、三百メートルは一番強さうです。それから人間のカロリーの榮養が喧ましくいはれますが、グリコの一、粒の中にそれだけの榮養素が入つてるといふことを形容するため、人間動くとカロリーを消耗するが、グリコ一粒で三百メートル歩くカロリーがあると云ふのです。そう言ふ譯で榮養といふのを菓子界に唱へたのは社長自分だといつてをります。

年表

大正十二年 多摩川水力電氣株式會社設立 日本郵船株式會社近海部獨立 近海郵船株式會社設立
 朝日新聞社東京大阪間の飛行郵便を開始 日本積善銀行破産(京都) 尾三銀行取付休業 名古屋財
 界の混亂 日本銀行市中銀行救済の第一聲明を發表 關西其他の金融界危機を脱出 九月一日關
 東大震災 爲替相場三十八弗半に低落 支拂延期緊急勅令公布 燒失銀行發表(本支店とも三四三
 行) 橫濱組合銀行一行營業開始 震災手形損失補償令公布 正金銀行生絲一欄につき八〇〇圓
 の貸出を決定 大蔵省より災害地農工銀行に對する復興資金六〇〇萬圓の融通發表 實業同志會
 發會 治安維持緊急勅令公布 帝都復興の大詔渙發 關東大震災死者九萬九千 行方不明四萬三千
 大蔵省震災損害見積額を發表(約一〇〇億圓)

廣告統計

年次	廣告總行數	前年ニ比 較増減歩 合△減	地域	藥品	合計	前年ニ比 較増減歩 合△減	化粧品	合計	前年ニ比 較増減歩 合△減	圖書	合計	前年ニ比 較増減歩 合△減	備考
大一一	一五九〇三六	五七	東京	五〇九三	四四八〇	五、一三〇							
			大阪	二、七二六	三六、一四二	六〇	一九二六	二七、二九六	△三二	一、七四四	一七、二七二	五、四	
			地方	二八、三三三	二〇、八九〇								
			東京	四、三七二	三、八九七								
			大阪	二、二八二	一、六一九								
大一二													關東大震災 地方新聞 計不能

大震大火と新聞廣告

昭和六年における煙たし片腦油の廣告

「煙たし片腦油は防臭劑として永く廣告されて居るが之は大正六年頃のものである。」

頭髮の爲によく 蒸り床しき
 最も 優れたる 御髪油
 東京町 井善

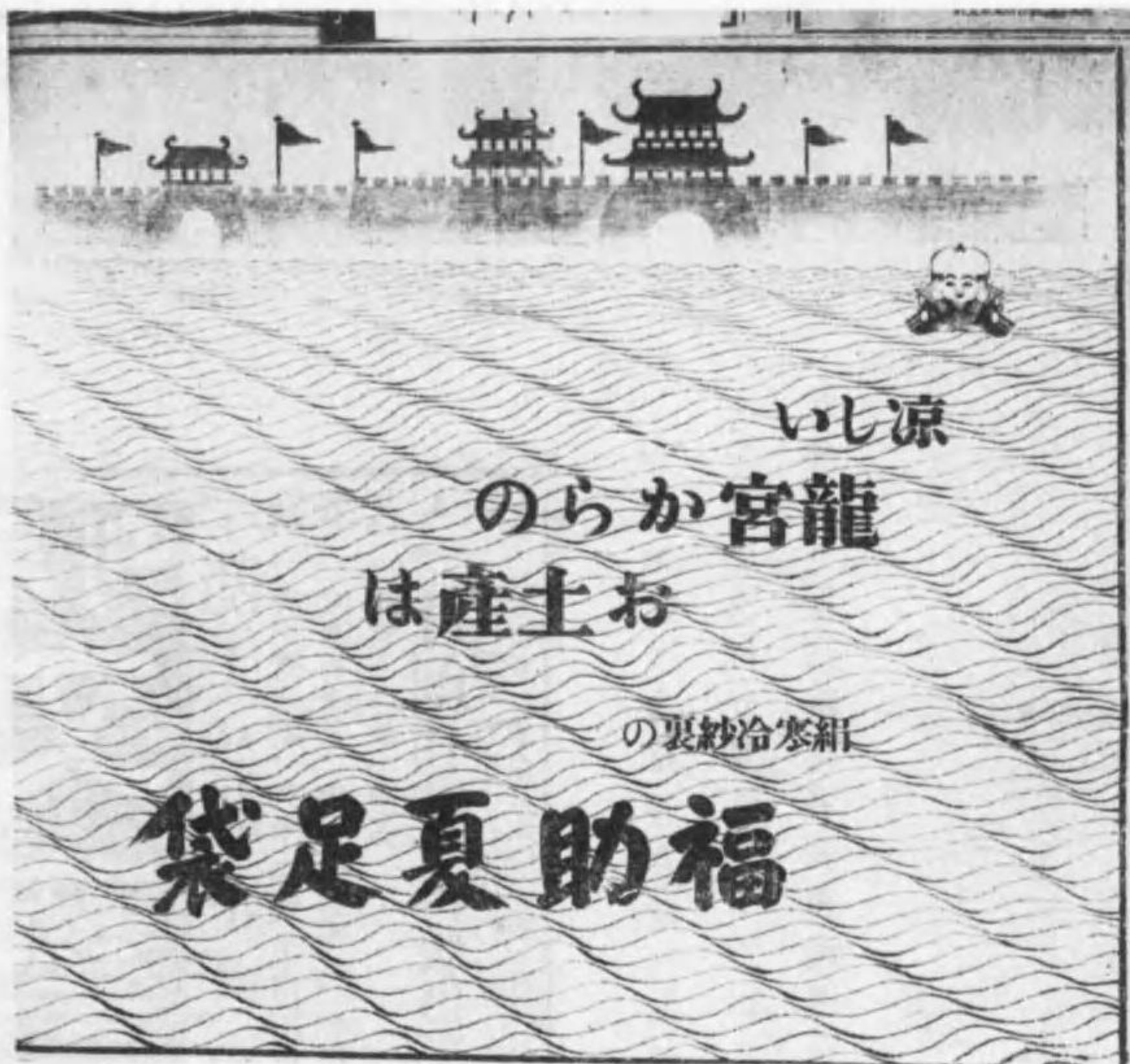
↑大正六年頃における井善の「るたし油」の廣告である

「博仁房が大正七年から織んに進出を開始した化粧品ベリンの一頁廣告」

品備常の庭家御 用毒消・臭防
 煙たし片腦油

コレラ流行の兆あも時
 一時の使用も急れぬ
 殺菌 防臭 消毒 煙たし片腦油

美白力十一倍 化粧化粧液
 化粧 何時迄も年をとらぬ



「福助夏足袋」の原書『大正十四年』

「福助夏足袋」東京支店新築落成移轉披露廣告『昭和四年四月』

大正十三年「東京朝日」は、懸賞を以て優秀なる圖案廣告を募集した。その一等に當選した「福助夏足袋」の廣告意匠

たしよし敷き等に一等賞の此
すよし上車脚履に様々の引掛系平

一等當選御禮

爽かな絹寒冷紗裏の
福助夏足袋

涼しく
強く
美しく

涼しく夏に
強く歩くと
美しく見ると
福助夏足袋の
魅力は、絹寒冷紗裏の
爽やかな質感と、
上品なデザインに
あり、夏にぴったり
の涼しさを演出する
だけでなく、
丈夫な作りで
長く履けるのも
大きな特徴です。

福助足袋株式會社
東京支店
新築落成移轉披露

たしよし敷き等に一等賞の此
すよし上車脚履に様々の引掛系平

目下二町馬橋小區橋本日本市京東

「文藝春秋とキング」の發生

大正十二年は關東大震火のあつた年である。併し九月一日の正午に、そう云ふ天變地異の襲來を誰か豫知しうるものぞ。廣告は依然として益々旺盛に、その機能を發揮しつゝある時に、大震火と之に伴ふ大火災が伴ひ來つて東京横濱を中心に關東一帯を殆んど壊滅に近いくところまで、やつつけてしまつたのであつた。その震後の廣告界については後に詳かに之を記す。今こゝには大正十二年の大震火までの廣告界を叙述することにす。

菊池寛編輯 一月十號 文藝春秋

隨筆、感想、批評、専門の文藝雜誌

芥川龍之助、久米正雄、中野實、小島政二郎、團扇一郎、直木三十三、佐々木味津三、今東光、川柳廣成、櫻光利一、菊池寛その他十數名

▲月刊創刊號 再版出來▼二月號 一月十日

發行所 東京小石川林町一九(電話一七六〇三) 文藝春秋社

支店 東京日本橋區西四丁目(電話一六七一) 文藝春秋社

出版界の一大異色としてと潤歩して居る
「文藝春秋」が大正二十年創刊の際
=日一十二月一年二十正大=告廣

先づ出版界については、菊池寛氏の「文藝春秋」が此年一月創刊されたことであつた。後年あれほど名聲を博した「文藝春秋」も、その創刊時の廣告は、さして大きなものではなく、何れかと言へば小さい方であつた。それから「雄辯會」の發行になる「キング」の發生も此年であり、八月三十日の新聞には、同誌に對する原稿募集の廣告が出て居る。何れにしても、此年後年の二大雜誌の發生を見たことは記念すべきことである。

なつて來た。「主婦の友」「婦女界」「婦人世界」何れもその廣告は月を追うて、大きくなるばかり。そこへ「プラトン社」の「女性」が華々しく進出して來た。出版業「新光社」の進出も目覺ましきものあり、又「東海堂書店」は此年より「新刊雜誌名著書籍週報」なるものを週告することにした。

「三誠堂」からは井上十吉の「井上ハンデー英和辭典」「三省堂の袖珍コンサイス英和辭典」「北辰館」からは簡野道明の「字源」「三省堂」からは、文部省國語調査會査定常用漢字の字引が發行され、何れも相當量のスペースを廣告に用いた。高楠博士、渡邊海旭共著の「大正新修大藏經」の大著も此年に着手された。同文館からは



大正二十年「談話社」の「グンキ」が現出するに原
稿募集の廣告



大正二十年「東京東洋株式會社」から「カルミン」が賣出された
ムカシ入ルンが賣出された

は「アダムスミス生誕二百年記念論集」を又「國民圖書株式會社」からは、泰西名著歴史叢書「日本文學叢書」刊行會からは「新譯日本文學叢書」を、春秋社からは「世界家庭文學名著選」十二巻を

成象堂からは、小川琢治の「日本地圖帖」を、興文社からは「電氣工學大成」を、有朋堂からは「對譯詳註漢文叢書」五十冊を、新光社からは「現代意譯佛敎經典叢書」を夫々出版するあり、之らに使用された廣告行數は、尠か

らぬものであつた。此年丸善書店は「ホームスウォールズ」の「萬有百科全書」を賣出したが、その廣告規模は、從來の規模に比し、遙かに小さいものがあつた。

左翼の存在し得て居る時代であり、而立社から、高島素之、佐野學の「社會科學大系」が出版された。尙此頃「大日本雄辯會」から發行された「人肉の市」は五百九十版を重ねたと稱せられ、續いて同會は「肉の榮光」を一頁廣告を以て訴及した。

「オリジナル」カオールの一頁廣告

化粧品に在つては、中山太陽堂が、同店創立二十周年を記念するために、中山文化研究所を創立した。又「ライオン齒磨」では、此年四月八日大阪支店の新築落成を見



大正二十年頃には、著名人寫眞の流行が甚し
かつた。之は當時の「小西六本」の廣告で

「安藤井筒堂」の「オリジナル」は、昔は大きい廣告をしないことを、家憲として居るかの様に思はせるほど、小ぢんまりした廣告のみ使用して居たが、此年代になつて、遂に半頁廣告に進出し、間もなく一頁廣告にまで擴大した。同店より發賣して居る「カオール」も亦、此年八月に一頁廣告を使用した。兩商品の廣告史上特記すべきことである。

「ミツワ化粧品本舗」から此年代「ミツワコンクレ」が發賣された。「仁丹齒磨」も亦此年代より進出を開始した。「金鷄オリブ石鹼」「安藤井筒堂」の「安福石鹼」等も猛烈な廣告戦を開始し、「レイト白粉」は東京、横濱の兩市において、熾んな宣戰賣出を行つた。

「村田好之助」商店の「赤箱」コノミ石鹼も、此年代進出を開始した。

久通宮王妃殿下
良子女王殿下
信子女王殿下
台臨を忝く恭しく光榮を紀す

さぬき小豆島
丸金醬油株式会社

大正二十二年五月
丸金醬油株式會社の第一頁廣告

「理研」ヰキタミンA

藥品界では、「三共」の「脚氣新藥オリザミン」同じく、「三共」の「解熱鎮痛劑」オボピリンが進出して來た。後年やかましくその效能を賞用された「理研」ヰキタミンAも此年代に進出して來たもので、「玉置合名」の手によつて賣出された。「大木合名」からは「目藥」神靈水「鹽野義商店」からは「ロイマチス」神経痛特效藥「鹽野シノメニン」武田長兵衛商店からは「畢丸ホルモン製劑」スベルマチンが賣出され、又同店から「結核性解熱劑」エールボンが賣出された。「東京大阪の田邊商店」からは「獨逸政府專賣特許」治淋新藥「ハイデサン」が進出し、友田合資會社からは「タンニン酸」オレキシシが賣出され、又暫らく雌伏して居た「ロート」目藥が、大きく復活し、「篠原保命堂」の「保命湯」も此年代又復大仕掛けで宣傳を復活して來た。又此年「惠那愛泉園」の「茯神」なる強壯劑が一頁廣告を以て出現した。

「蜂葡萄」の新裝品

「蜂葡萄」は嘗つて、「レット」の懸賞募集をしたが、此年その當選「レット」に依る新裝品を賣出し一頁廣告を以て堂々と宣傳した。特に「レット」の製版に意を用いたものと見え、廣告の印刷面はどの新聞も極めて鮮明であつた。

「カルピス」の宣傳廣告は、年と共に激烈を極め、此年代には「日本童謡の國際運動」なるものを開始し、堂々と廣告を以て此運動を宣傳した。「大日本ビール」は「清涼飲料水」ナポリンを賣出し、「東京菓子會社」の「メリーミルク」を、又同社は「カルシウム入りカルミン」を賣出した。

「森永商店」では、七月五日より十六日まで「森永ビスケット・デー」を催ふし、同店商店の大宣傳を試みたが、「大竹製菓」でも「大竹」Aドロップスの大宣傳廣告を爲した。

時計界の覇王

正確ナル時間ヲ知ルハ

世 第

人間最大ノ幸福ト資産ナリ

TRUSTY

社会計時ンバタ

大正二十年「社会計時ンバタ」の一頁廣告

出して来たのも此年代である。

「白木屋」の値段
廣告

我百貨店の新聞廣告は「三越」が百貨店に改組した明治三十七年頃と大阪の「そごう」が商品の値段を一々紙上に廣告をしたことがあつたが、その後その廣告値段は中止されて居た。然るに此年「白木屋」の經營を西野惠之助氏が行ふことになつて、此値段廣告が復活して来た。

西野氏は歐米の百貨店は凡て陳列商品の値段を廣告して顧客の購買に便して居るから、我邦の百貨店にも亦之を應用すべきであるとし、

文房具

夏の夜の銀座の御散歩
御立寄を願ひます

事務用
書齋用
學習用

銀座
伊東屋

至報欄廣告以てやつて来た。之は大正二十年頃のもの
銀座「伊東屋」文具店、大々減價の多しに、大抵小形の廣告の

その旨を新聞に廣告して、同時に値段廣告を開始したのであつた。此廣告は嘗て行はれた値段廣告の再興であり、嚆矢ではなかつたが、百貨店廣告の上に與へた一種の刺戟であり、廣告を見る人の得た便宜は大であつた。

「錆びない鋼」
進出

機器に屬するものとして「日本蓄音器會社」の「ワシ印歌舞伎レコード」は一頁廣告を以て進出し「タパン時計會社」も亦同様一頁を以て進出して来た。「大阪宇都宮商店」の「獨逸製ライト體溫計」大和

ム製造所の「イージーおしめ」も此年代よく廣告され、安全剃刀「ジレット」の輸入も此頃甚だ多く、常に新聞廣告に之を見ざる日は無かつた。

「東京特殊鋼」の「錆びない鋼」の出現は、此年代における大きな發明界の産物である。而して此錆びない鋼は忽ちにして、日本の乃物界を征服し、今日錆びない鋼を用ひざる乃物は無くなつてしまつた。又スボーツの發展と共に、運動用具の需要著しく増加し、美津濃運動用具商の廣告は、ぐんぐん進出して來た。

「小西六本店」の進出

此以前から、流行の浪に乗つて居た素人寫眞も亦此年代に入りて益々その流行の度を高め、小西六本店の廣告は、此流行に乗じて進出大に目立ちて顯著であつた。

「イージーおしめ」 服装品の變つたところでは、大和ゴム製造所の「イージーおしめ」の廣告進出が目立つて見えた。

除蟲劑の廣告進出

此時代除蟲劑の大進出を見た。則ち安住大藥房を始めとし、大日本除蟲粉、内外除蟲菊、帝國除蟲、大正除蟲菊、山菊蟲、今津化學等、轡を並べて進出し來り、之ら除蟲劑の新聞廣告は紙面を相當に占領した。

渦巻線香時代迄

大日本除蟲菊株式會社 宇野善四郎氏談

最近非常に蚊取線香を使ふやうになつたですが、少し古い時代には松を焚いてその煙で蟲を取つたといふ非常に原始的な

遣り方をしてゐたものです。それから蚤取粉を銀屑の上に焚いて蚊取線香の代用にして居つたものですが、それが進化して、除蟲菊の花をそのまゝ紙包に入れて棒に巻いたものです。それを縁に吊つて火を附けてくすべて居つたといふやうなことがあつて段々進歩して今のやうに渦巻にしたもので此頃から新聞廣告も本格的になつてをります。

八月迄の廣告行數

右の如く、大震災火災までの新聞廣告は順調に進行したのであつた。今大正十二年一月以來同年八月までの各月における東京十四新聞大阪四新聞の廣告行數を左に示す。

大正十二年	大正十一年
一月 三、三〇六	一月 三、二二〇
二月 三、〇五九	二月 二、九二七
三月 三、五五七	三月 三、四四五

謹告

日本電報通信社は帝國ホテル(宴會場入口)に於て早速事務を開始して通信及び廣告の取扱ひに應ず

九月三日

日本電報通信社
光 永 星 郎

大正十二年五月九日火災後五日發行の東京
日刊廣告に於ては、大震災後初の復興廣告

四月 二、六二六	三、三七〇	六月 三、五四九	三、二二七
五月 三、六七七	三、四五三	七月 三、七二五	三、五九七
八月 三、三七三	三、一九八	計二七、八七八	二六、二四一

千以下を切捨てたるを以て合計の未位に多少の違算あり

災後の復興廣告

「東京日日新聞」は九月五日に既に二頁新聞を發行した。立派に輪轉機に刷つた新聞であつた。その第二面に廣告が一段半ほど掲載されてあつた。凡て震火災に關する廣告であつたが、同紙は罹災者の立退通知廣告の爲めに便法を講じ、拾行一回九圓五行一回四圓、三行一回二圓の料金を以て、その廣告を掲載することゝした。而してその九月五日の同紙の廣告面に眞つ先に掲載されたものは大河内博士、倉橋藤治郎氏の工政會のた。唯大小の活字を排列したに過ぎぬ廣告面であつた。明治初年の廣告面に彷彿たる感じがあつた。新聞は十月一日までに大抵平常通りに復興を了つた。そうして新聞廣告も亦ポツ／＼状態を復活した。慰安興行の廣告は十月三日より掲載を開始されたが、化粧品品の廣告は、それより後になつた。災後の廣告として最も多量であつたものは、銀行と生命、火災兩保險會社の廣告であつた。次で復興資料に關する廣告が多く掲載され、食料品の廣告も亦多かつた。「葛原冷蔵庫本店」の鮮魚の供給廣告、乾

奉仕のめいた
大丸の廉賣
十月一日
御主人用品
六階
マーケット
一般綿布類一階裏通り
家庭日用品類
雜貨類一階裏向入口
一階のことも等しくなす。
幾ばなかつた大丸は海客の爲めに特別に營業
し此際も亦増進し何れも同様に歡迎して
ございませう。

大丸 丸服店
大丸 丸服店

紙「日東」の日十月九年二十正大
告廣興復の「丸大」上

立退廣告と、日本電報通信社の立退廣告であつた。そうして此二つの廣告が震災後の新聞に現れた、最初の主なる廣告であり、復興の先驅を爲した廣告であつた。新聞は、復興を急いだ。そうして立退廣告搜索廣告、復興廣告で、どの新聞も一杯であつたが、併し圖案の少しも無い廣告面であつた。

卵食料品會社の「ラクトーゲン」の廣告は特に目立つた。

震火災より安全た

るべく、それらに掛念なき住宅土地を得よとの「箱根土地」の廣告が、災後間もなく現はれた。

此時代に「八千代生命」があつて、新聞廣告を利用すること巧みに二十四時間内仕拂主義を以て頻りに宣傳したが、大震大火後に在つては目立つて猛烈な廣告をした。又星製藥も、熾んに「星胃腸藥」の廣告を連載

面紙「日東」の日一月十年二十正大
たれさ載連日毎、が告廣な慘悲ふ言うこ。るあて

した。

大災後の出版廣告

震火災の直後に出版廣告の先鞭をつけたものは、「婦女界社」の「關東大震災寫眞實記」と、「大日本雄辯會」の「大正大震災」の「誠文堂」の「實地踏査大震災の東京」であつた。「雄辯會」の「大正大震災大災災」は、その廣告に相當努力を拂つたもので、さまざまの形式において、大きな廣告を幾度も出して宣傳せられた。兎に角出版界は紙型を燒

をつかねて材料の揃ふのを待つより外なく、そのため災後の新聞には、出版広告は極めて寥々たるもの

呉服界革新の叫び
後の伊勢丹が
良品の廉賣を
商戦唯一の旗幟として

新に難波を設け
来る十一月五日から
新宿一丁目御苑附近で
二趣、白木の大地を向と廻して

創の店貨百[丹勢伊]たしを出進大と々堂に宿新
=日東日一月一十年二十正大=。るあで告廣業

十一月一日より上野廣小路へも
松坂屋の廉賣場
を開設
しました

松坂屋假設堂所
松坂屋廉賣場
各所とも御便宜に任せて御用願ひます

十三月九年二十正大
廣興復の[屋坂松]日
=日東=告

蜂印香葡萄酒
營業開始

酒造大工の職は早速製造なる物見舞を
し、御方御用有奉非薄候
御愛用各位に二月に参んぞし此間御意に申
請之御用不御買御用御上候御用出共復
御用之御用は日夜死力を盡し御用御用在候
御用今々完成を告げ御用早々御用御用可仕
候御用家第一の強壯飲料として五十年品
主顧に一致せし御用は、此際御用は御用を
申し御用御用御用御用は、御用御用を
御用御用御用御用御用御用御用御用御用
下度不取致し御用御用御用御用御用御用
御用御用御用御用御用御用御用御用御用

近藤利兵衛商店
神谷傳兵衛本店

商衛兵利藤近[日一月一十年二十正大]
=日東=。るあで告廣興復の[店]

であつた。此の如き時「富山房」が廣告して、教科書十三年度の供給に何らの心配なきを告げたのは、當時不安になり勝ちの國民に非常な安心を與えたものであつた。

各商店復興を急ぐ

各商店は不眠不休で復興を急いだ。「森永」は九月十日より丸ビルで營業を開始し、白木屋は同月二十日より同丸ビルと、東京驛前に急造のバラックを作つて市場を開いた。「三越」本店は十月十二日より一部開業し、銀座資生堂は十一月十日に開業、服部時計店は十一月二十日より開業した。又「丸善」は十二月一日より「上野松坂屋」は十二月十四日より開店した。尙各百貨店は、本店の設備未だ完備せざることを補ふため、市内の要處々々、の被害が多く加はつて居ること勿論である。而して新聞廣告に對する影響は如何と言ふに、新聞の復興に要する時日が甚だ短期を以て終つたのと、復興廣告が新聞の廣告面に殺到滿載された等のために、

SHISEIDO

新しい美肌
明かす
輝かなる
生活を
生かす

成落店堂生資座銀

十二月一十年二十正大=告廣興復の[堂生資]座銀
=日東日一

バラック建のマーケットを作つて、市民の需要に供した。百貨店以外にも、日比谷交又點には「日比谷マーケット」が出来、京橋北横町中橋廣小路停留場西入ところには「日米マーケット」が出来た。

新聞廣告に對する影響

大藏省では、大震大火に依る被害額を約百億圓と計上し之を發表したが、此中には商工業の影響は如何と言ふに、新聞の復興に要する時日が甚だ短期を以て終つたのと、復興廣告が新聞の廣告面に殺到滿載された等のために、

比較的その影響は尠く、前年に比し十二年は總行數において三百二十四萬三千行の減少を見たに過ぎなかつた。最も大災が無かつたならば、十一年以上に増加すべき行數が却つて減少を見たのであるから、それらの點を考慮すると、大災に依つて受けた影響は、右の行數以上に昇ることは瞭であるが併しあれだけの大災を受け乍ら、その影響の之れだけで止まつたことは、要するに當業者の復興に對する邁進力の旺盛に基を置くものであつた。

左に東京十四新聞が九月以後十二月に至る、災後の復興期間における廣告行數を示すと左の如し。

	十二年	十一年
九月	七九八千行	二二五五六
十月	一四六五	二二三五二
十一月	一六一三	二二九一
十二月	二〇九三	二四一三
計	五、九七〇	九、三一一

即ち三百三十四萬行の減少である。

右は東京新聞の被害行數であるが、然らば大阪に在つては如何と言ふに、左の如き數字を示して居り、大震大火の影響を若干程度受けて居る。

	大正十二年	大正十一年
九月	大阪三新聞	大阪三新聞
十月	二〇七千行	六八九
十一月	五八三	九二〇
十二月	七六四	八七五

博文館日記

『日記は博文館』……天下の公評！

最高の品質 用紙の精良・印刷の鮮麗・綴本の堅牢・三指子さうって絶對美觀！

最低の價格 全日本人の使用する日記の總數の八割五分は及十位の博文館の日記！

用意は今！！ 刻々賣切に近づく 買ひ換れて物を新年に残す勿れ！

總額 日記賞提供 當選二万名

……日記使用の良書宣傳のため大懸賞を附し、日記全部に回答用紙を添付せり……

常用日記	懐中日記
横線常用日記	英文懐中日記
英文常用日記	家庭日記
ホケット日記	小學生日記
横線ホケット日記	家庭出納帳
	家計日記
	家長原簿

博文館

年表

大正十三年 大日本報徳社設立 東京乗合自動車事業開始 東京海上火災保險株式會社一割支拂を開始
 大正十四年 朝日新聞社舉行訪歐飛行出發(一〇、二八、ローマ着) 共濟信託株式會社設立安田信託株式會社の前身 住友信託株式會社設立 治安維持法公布 但馬地方激震
 昭和元年 生絲暴落清算一五〇圓臺出現 商工省の外國品不當廉賣防止策決定 日本郵船會社東洋汽船會社を合併 信託財産五億を突破 文部大臣、學生の社會科學の批判研究を絶對禁止 青年訓練所開設

廣告統計

年次	廣告總行數		地域藥品合計		化粧品合計		圖書合計		
	前年ニ比 較増減歩 合△減	前年ニ比 較増減歩 合△減	前年ニ比 較増減歩 合△減	前年ニ比 較増減歩 合△減	前年ニ比 較増減歩 合△減	前年ニ比 較増減歩 合△減	備考		
大一二			東京 四、三七二	三、八九七	一、六一九	四、五六〇	一、三五六	關東大震 火災、地 方新開統 計不能	
大一三			東京 四、九二八	四、九八〇	四、九三九				
大一四			東京 五、九二八	五、八三七	五、五一一				
大一五			東京 二、〇七、八九七 △一・三	四、八九一	六、六四七				
			大阪 二、二七五	四、五、三六 △	一、四四二	三、四、三〇九 △	一、九六五	三、四、三七五	二・九
			地方 三、七、五八七	二、七、九七六	一、五、七六三				四本全集 もの時代

普通出版界の寂寥

大正十三年に入つてからの出版界は前述した全集出版に景氣を奪はれ、普通刊行物は殆んど顧みられなかつた。但し辭典ものは一日にして成らず、此年に至つて成工上梓したものに左の種類があつた。

- コンサイス英和辭典 三省堂
- 金澤博士辭典(新型) 三省堂
- 商業大辭書 同文館
- 芳賀博士新式辭典縮刷 大倉書店
- 増訂版岩波哲學辭典

尙十四年には廣文庫群書索引完成第二版が發行された。
 又同年二月十一日には徳富蘇峰氏の「國民小訓」が出版された。

此年代の雜誌界 雜誌界に在りては、その廣告が漸次大きくなり、講談社の發行雜誌において殊に甚しきものあり、常に一頁廣告を使用するに至り、此に講談社型の廣告を産出した。又「主婦之友」も此年代から一頁廣告を常用した。「國際情報社」に在りては、婦人グラフ創刊號を大正十三年五月に發行。同八日には「實業之日本社」から「娛樂雜誌」東京を次で大正十四年には「新潮社」は「婦人の國」を新に發行した。

「田邊商店」より賣出され、非常なる勢を以て需要を喚起した。「三共」の祛痰劑「ブローチン」も頻りと廣告を掲げ、「大木合名」の「毛赤毛染カート」「鹽野義商店」の新藥「バラヌトリン」「森田屋本店」の婦人藥「メスチン」等も、活潑に廣告し、殊に「メスチン」は一頁廣告を以て進出を試みた。

「ポリタミン」「メンソレータム」サロメチール進出 ―大正十四年―

大正十四年に入つて、武田長兵衛商店の「補血滋養強壯劑ポリタミン」「武田長兵衛商店」の「アゴメンジン（チバ）」「シストメンジン（チバ）」が、進出して來た。「ポリタミン」は藤澤友吉商店の「ブルトローゼ」に對抗するものであり、その進出ぶりは凄まじいほどであつた。「丁字堂藥房」の痔の藥「ヒツト」「鹽野義商店」の緩下劑「ラキサトル」「三共」の「ヨード」「フレラトローゼ」「藤澤友吉商店」の新發賣「マクニン」、それから家庭常備劑「メンソレータム」「サロメチール」が、益々家庭に喰込んで來た。「アルゼール」「トミー」合資會社の「百日咳特效藥」「アンタゴニン」及強力整腸消化殺菌藥「エンテロール」も、此年大廣告を以て宣傳した。又前年から頻りに一頁廣告を使用して進出を開始した「アイフ」は、此年も同様に大宣傳を爲しつゝ、あつた。

化粧品界の進出品 ―大正十三年―

ヘチマコロン―メヌマボマード出現

「星製藥」は新たに化粧品に向つて進出し、頻りにさまざまの化粧品を作つて、之を宣傳し、又別に「星」家庭新聞なるものを發行した。「天野源七商店」の「ヘチマコロン」「井田京榮堂」の「メヌマボマード」も、此年出現したもので、その他に大した新しい進出を見なかつた。又「オリヂナル」は、益々大廣告を採用する様になり、

一頁廣告を頻用した。

「カオール」の保險運動 ―大正十四年―

「カオール」の宣傳は、大正十三年において非常に活潑を示して來たが、十四年に入るや、民衆的國民保險運動を起し、「國民保險標語」を募集する事になり、その募集を一頁廣告の頻用に依つて行つたのは、此年、特に目に立つものであつた。又、此年「新橋演舞場」の開場さるや、「御園會」は懸賞をもつて、同演舞場に贈る

「三ツ組商店」の「白菊石鹼」であり、「ベルベット石鹼」も亦猛烈に進出を開始した。

「金鳥香蚊とり線香」

「大日本除蟲粉株式會社」の「金鳥香蚊とり線香」も、此兩年、特に大きく宣傳を行つたようであつた。

補血滋養強壯劑の革命的製品
世界誇り得る「ポリタミン」完成
補血強壯「ポリタミン」(狀液)

近世科學の進歩に伴ふべき「ポリタミン」に於て、
實に學理的にして、又有力なる補血強壯作用を
有する滋養強壯劑は「ポリタミン」に於て、
初めて之を見ざるを得べし。

味甘美として、男女、何人にも、容易に服用せらるべき、新製特効藥なり。

大正十四年四月から現はれた「武田商店」の「ポリタミン」の廣告

緞張の圖案を募集し、その當選圖案によつて、素晴らしく華美なるものを製作し、之を贈呈するところあつた。又同會は、此年、歌舞伎座の初開場に際し、同じく懸賞募集を以て圖案を選定し、その緞帳を贈るところあつた。

此年新石鹼の進出せるもの「柳下商店」の「ミヤコ石鹼」「シーザ社」の「シーザー石鹼」

「サクラビール」の進出 「サクラビール」は此年より廣告宣傳に馬力をかけ、頻りに一頁廣告を使用し、又明治屋の「月桂冠」は、防腐劑を使用せざる旨の公衝の證明書を掲載して、その宣傳を強力たらしめた。

日魯漁業罐詰進出 食料品に在つては、「日魯漁業」の罐詰が、一頁廣告の頻用をもつて進出して來た。「明治ミルク・チョコレート」の現はれたのも此年であり、「滋養飲料劑レキス」の目立つて宣傳に努めたのも、此年代であつた。

「キリンビール」横濱本工場は此年復興した。そうしてその復興廣告が大々的に廣告された。「松下商店」の「牛肉寶來煮」も此年代より廣告を頻載した。銘酒界では「大關」と「松竹梅」とが頻りに訴及した。「松竹梅」は、雜報欄廣告をよく使用した。

「明菓」の進出著し 大正十四年

「明治製菓」の進出目立ち著しく、新たに「ココア・カルミン」を發賣し、又「メリー・ミルク」の宣傳に力を竭した。尙同會社の「キング・アイスクリーム」工場は、此年落成したのであつた。

すまひあてへ添を強附東關にめたの者願愛の縣近のそび及京
よ見を誌本るた威權高最の界誌雜てつ依に位本實

主婦の友之友

無愛と結婚の去就に迷ふ男女の相談
生に奇する波
春は謎れり
死より強し

大正十四年四月に於ける「主婦の友」の一頁廣告
此頃までは同誌は一頁廣告を常用して居た

「明菓」宣傳活潑を加へた一つの現はれとして、歌舞伎座へ進出し、觀劇會を催ふした。「森永」では製菓「森永宇治かほる」を賣出した。又同社の製品ビスケット「マリ」。「モレット」は此年の作出にかゝるものである。

雖のまつりに、なくてはならぬ「河合」の「花白酒」は此年ころ、頻りに華

美な廣告をした。

「三越」と下足 十四年

百貨店では、その復興工作が着々完成整備された。三越が下足問題について市民に質問を發し、下足は依然としてお預かりすべきものなるや、將又其儘出入りして貰ふべきものなりやと、新聞廣告を以て、その回答を求めたところ等は、震火災の結果が、小さなところにも、新時代を劃さしめたことを立證するものであつた。若し百貨店が、災前の如く一々顧客の履き物をお預かりして居たが、最後百貨店の方が悲鳴を上げてしまつたことであらう。



小松の薬の特長
小松の薬の特長
小松の薬の特長



金鳥の渦巻かきの特長
金鳥の渦巻かきの特長
金鳥の渦巻かきの特長

三越の下足問題

三越呉服店は近く本修繕に着手致します。ついでには本修繕落成の晩には
一 店内を清潔に保つ爲めに、
震災前の様に一々御下足を御預りいたしませうか。それとも
一 御出入の御便利の爲めに、

現在の様に靴下駄其儘にて御入來を願ひませうか。

要するに皆様方が御愉快に、しかも御面倒なく、御買物の出来ます様設備致したいと存じますから、どちらがお宜しいか何卒御聞かせ下さいませ。御願ひ申上げます。

五月廿五日

東京市駿河町

三越 呉服店

専務取締役 倉知誠夫

(大正三、五、二六)

三越は、大正十五年七月三日、佛國からベルト・モルバン女史を招聘して、女裁縫の任に當らしめることとした。此年の頃よりして、日本の婦女界には洋装が、減つ切り増加して來た。

高島屋別館開店

高島屋は十三年三月十五日より、高島屋別館を開店し、そこに家具部を特設し、和洋家具、室内装備用品を常に陳列することにした。尙高島屋は、雜報欄廣告を使用すること多く、而してその小さなスペースの中に、商標を大きく現はして、效果的の廣告を爲すことに成功した。

「福助足袋のアンダー足袋」 福助足袋は、此年代「アンダー足袋」を賣出した。又、東朝の意匠競技廣告に参加して、第一等を獲得した。

「丸ビルの丸菱」十五年

東京驛前の丸ビルは、十五年四月に完成した。そうして此ビルディングの完成は、東京の商工業界に多分の刺戟を與へたものであつた。此ビルディングの二階に「丸菱」が小百貨店を開いた。一時相當の成績を擧げて居たようであつたが、結局不良の成績を以て閉店をした。

「フォード」

「の」

「大」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」

「の」



大正十四年頃における活動寫眞の一頁廣告

の中「フォード」の廣告は殊に目に立ち、その類用さるゝ一頁廣告は、新聞の廣告面を壓倒した。抑も、米國のフォードが、横濱に「日本フォード自動車株式會社」を設立したのは、大正十二年の大震災後であつた。

此くしてフォードは大量生産によりフォード自動車の日本化を圖り、その新聞に對する廣告は實に米國式の大掛りなもので、全國主要紙と大量契約を結び、フォードの名は全國を席捲した觀あつた。尙ほ自動車の一頁廣告が我新聞に現はれたのは、フォードを以て最初とする。

ゼネラル モーターの進出

フォードの日本進出に次で、米國の工業界から、日本に進出して來たものは「ゼネラル・モーター」であつた。同社はフォードと對立的にその營業に勵み、米國各種の自動車を日本の市場に持込み、その新聞廣告も亦フォードと競争的に掲載され、その大量掲載は、昭和の初年において最も甚しいものがあつた。此年代自動車の輸入は非常に熾んであり、單に米國のみならず、歐洲の自動車も日本にどしどし輸入されたが、併しその大仕掛けにおいてフォード・ゼネラル・モーターを凌ぐものは一つも無かつた。昭和年代に入りて自動車の國産が漸次發達し、更に事變において、兵器として最も重要性を帯ぶ此自動車が、外國よりの輸入を仰ぐなくして國産をもつて、用を辨することの出来るようになったのは、要するに右フォード・ゼネラル・モーター等に刺戟された結果と見るべく、單に新聞廣告の恩人としてのみならず、又我國自動車工業の恩人として、之を見ねばならぬ。

岡本製作所のノーツ號 外國自動車自轉車の輸入と共に國産品も頭を持ち上げて來た、名古屋市岡本製作所「の發展は此年代であり、その製品自轉車「ノーツ號」も此年代を利用して大に進出して來た。

ナショナル・ランプ廣告現はる

後年電機界に覇を唱えた、ナショナル・ランプの廣告が、大正十五年頃に頭を出した。その以前に「安眠ソケット」の廣告があつたが、之れはホンの小さいものであり、ナショナル・ランプとして、出馬したのは此

年代が最初である。

尤も、その頃の此廣告は小さいもので、三段五行位から十行五段位の極く小型のもので掲載された新聞は大朝、大毎、東日、東朝位であつた。行數も精々百五十行か二百行程度であつた。併しナショナル電球發生の廣告として此時代の廣告に敬意を拂はざるを得ない。

八千代生命廣告の新機軸

「八千代生命」は、此頃盛んに碎けた廣告をして、生命保険の新聞廣告としては全く新しい生面を開いたのであつたが、不幸にしてその結果が流行した。併し米國における如く永續きがしなかつた。

土地會社の廣告進出

震災復興の時節として、此年代建築材料に関する廣告が目立つて多かつた。又ラヂオの機械も多くを

映画筋書懸募集

本社は前年三十七年度に、映画界に多大の貢献を為して、特許権を有する「リリー」の自転車を、映画界の発展に資するべく、映画筋書の懸賞募集を行つた。その結果、多くの優秀な筋書が寄せられた。茲に、その中から、最も優秀な筋書を、本社の賞品として、贈呈する。其の募集要項は、以下の通りである。

募集期間：昭和十四年四月一日から五月三十一日まで

募集対象：日本国内在住の、二十歳以上の日本人

募集内容：映画筋書（小説形式）

賞品：リリー自転車（最新型）

募集場所：名古屋市千代田区、リリー自転車製作所

リリーの[所作製車動自車轉自本网] = 年四十正大 = 告廣の[號ツ]

果は逆行を見た。又活動寫眞の廣告も漸次大きくなつて來一興行に一頁廣告を二回も使用したものがあつた位である。

十四—五年

クロスワードの廣告

此年代を通じ、クロスワードパズルが流行し初め、それを廣告に利用す

現代日本文學全集

豫約募集

内容見本呈進

日卅月一十切締



「現代日本文學全集」の出版は、我が國の文學界に一大革命を齎し、特權階級の藝術を全民衆の前に解放した。一家に一部宛を！熱帯なき人生は眞に荒野の如くである。我人は眞に世界の特筆すべき偉大な明治文學を有しなげけるが如く、全民衆化せざるは例なき百部計畫の壯圖を前に行して、全國各家の愛護を俟つ所だ。日本の第一の誇り！明治大正の文豪の一人、現代表作を、集め得た其事が、現代表作を、異なるとして、冊一千二百枚、以上の名作が、唯の一冊で讀めると、現日本最大の驚異だ。

第一編 明治初期文學	第二八編 佐々木味津三
第二編 明治中期文學	第二九編 宮田次郎
第三編 明治後期文學	第三〇編 宮田次郎
第四編 大正初期文學	第三一編 宮田次郎
第五編 大正中期文學	第三二編 宮田次郎
第六編 大正後期文學	第三三編 宮田次郎
第七編 昭和初期文學	第三四編 宮田次郎
第八編 昭和中期文學	第三五編 宮田次郎
第九編 昭和後期文學	第三六編 宮田次郎
第十編 昭和末期文學	第三七編 宮田次郎
第十一編 昭和現在文學	第三八編 宮田次郎
第十二編 昭和未來文學	第三九編 宮田次郎
第十三編 昭和文學の發展	第四〇編 宮田次郎
第十四編 昭和文學の展望	第四一編 宮田次郎
第十五編 昭和文學の批評	第四二編 宮田次郎
第十六編 昭和文學の理論	第四三編 宮田次郎
第十七編 昭和文學の實踐	第四四編 宮田次郎
第十八編 昭和文學の教育	第四五編 宮田次郎
第十九編 昭和文學の傳播	第四六編 宮田次郎
第二十編 昭和文學の保存	第四七編 宮田次郎
第二一編 昭和文學の發見	第四八編 宮田次郎
第二二編 昭和文學の發掘	第四九編 宮田次郎
第二三編 昭和文學の發揚	第五〇編 宮田次郎
第二四編 昭和文學の發達	第五一編 宮田次郎
第二五編 昭和文學の發達	第五二編 宮田次郎
第二六編 昭和文學の發達	第五三編 宮田次郎
第二七編 昭和文學の發達	第五四編 宮田次郎

現代日本文學全集

改造社發行

「現代日本文學全集」第二回豫約募集二頁廣告「昭和二年」

「改造社」の「現代日本文學全集」第二回豫約募集二頁廣告「昭和二年」

「改造社」の「現代日本文學全集」第二回豫約募集二頁廣告「昭和二年」

年表

昭和二年 三月十四日片岡藏相の失言により銀行にパニック起り三月十五日東京渡邊銀行あかち貯蓄銀行支拂停止、中井、中澤、八十四左右田の各銀行休業、臺灣銀行休業、近江、十五銀行休業、金融界動亂を來す、休業銀行數三十二行預金總額八億九千萬圓中取附額六億圓、全國銀行は四月二十二―三兩日間臨時休業、銀行合同行はる、五大銀行へ預金集中す、商工界は金融杜絶のため事業不振となる、東京電燈及東京電力合併假契約調印、三菱信託株式會社設立、臺灣銀行調査會設置、樞府精査委員會、臺灣銀行救済の緊急勅令案を否決若槻内閣總辭職、支拂延期竝に手形の保存行為の延期に關する勅令及其施行地區指定に關する勅令公布、大藏省、日本銀行に臺灣銀行へ三〇〇萬圓の特別融通をなすべき旨を命令、第一次山東出兵、奧丹後大地震

廣告統計

年次	前年ニ比		地域	前年ニ比		化粧品	前年ニ比		圖書	前年ニ比	
	較増	減歩		較増	減歩		較増	減歩		較増	減歩
大 一五	二〇七	八九七	△一三	東京	五四八	三	四、八九一	六、六四七	六、六四七	六、六四七	
昭 二	二〇六	二四二	△〇七	東京	五、八七七	一	二、七九七	一、九六五	二、四三三	二、四三三	
				大阪	二、二七五	四五三	三三〇	九	△二、四	一、九六五	
				地方	三七、五七八	二七、九七六	一五、七六三	七、五八九	二、四三三	二、四三三	
				大阪	二、五九八	四五六	九七	一、四二二	三三、八三六	△四、三	
				東京	五、八七七	一、四二二	三三、八三六	△四、三	二、四一〇	二、八〇四	
				地方	三七、三二二	二六、七二六	一八、〇四二				

世相斷層 (六)

昭和時代

昭和時代は我帝國として最も多難なる時代であつたと共に、國內的にも亦國外的にも大發展を示した時代であつた。而して從來の帝國における諸種の態勢は、此時代に於て、全くの改革を興へられたことは、最も銘記すべきことであつた。

所謂五一五事件の起つたのも此時代であり、又二二六事件の勃發したのも此時代である。之と前後してテロが横行し、幾多の要人が暗殺の難にかゝり、世相の險惡不安は極まりなきものがあつた。國外の大事件としては、滿洲事變が勃發し續いては上海事變を生じた。國際聯盟は、我國の行動を正しく認識し得ず、日本に重壓を加ふるの態度に出た。此の如く内患と外憂とは交々我國を襲つたが、反撥力の強い我國民は、壓迫をよく挑ね返して之を反撃し、牢固たる國際的地位を獲得したのであつた。

此年代の最初に於て、我が經濟界を窮地に陥らせたことは、濱口内閣の財政政策であつた。即ち濱口内閣は極端にして、且つ急激なる緊縮政策を以て、その施政方針とした。その政策のために物價の下落甚しく、昭和四年七月より五年七月までの一ケ年に、一割七分の低落を見た。何しろ吳服物等は、二十年の安値を唱へられ、訪問着一枚十三圓と言ふ、低落である。此急激なる不景氣のために、怠納者は續出する。失業者の歸農に依り農村の生活は益々困難を感じ。昭和五年末の失業者數三百萬人、此中建築關係の失業者のみにも六十萬人と稱せられ、幾度か失業防止大會が開かれたが、何等の名案も浮ぶなく、工場は漸次閉鎖され、労働爭議は到るところに發生し、生き残つた工場も經費の節約から寄宿舎の従業員らの給養を悪くした、め、榮養不良の男女従業員が續出する有様、小學校ではお辨當の無い子供すら

澤山あつた程で、實に濱口内閣の緊縮政策が與へた影響は甚大なものがあつた。

新雑誌 日本一面白い雑誌

歐米最新式記事の物語化と、我國講談の長を併せ
「面白さ第一」の新工夫
 老若男女誰にも面白い、誰にも愛好される
 いろはが語れば通にも判り、然る者も博士も喜ぶ！
 日本人なら誰でも熱狂！

全巻これ感動感激！
 古今聖賢の教、東西偉人の言行
 大人物の活躍等、悉く面白き物語に仕組む

「これならこの家庭へも入れたい」と名士識者も皆うなづいて激賞！
富士の到る處、醇風良俗！
 萬人、感奮興起！！

本誌一冊一家の和樂！
 これこそ眞の國民的大衆雑誌！

五十錢
 十二月五日東京發賣
 非常な評判！今直ぐ書店へお申入れ
 發所 東京 大雄辯會談社



のそ。たし刊發を「士富誌新」に年二和昭は「社談講」
告廣頁一告豫の時

不景氣の爲めに
各會社銀行は萎縮
の極に陥り、鐘紡す
ら減給問題が持上
り、東京市電も亦減
給や賞與減額でス
トライキ騒ぎを起
した。郵船の配當
は八分より三分減
の五分配當と改め
られ方に創立以來
の最低率を示した。

**ラヂオ面
新設**

昭和に入ると共にラヂオ放送は益々壯んとなりて商品等の廣告も放送されんとし、その新聞廣告に
影響する樂悲兩様の觀察が行はれて來た、而して植民地においては既にその實現を見るところもあつ

たが、本國の放送局においては、未だその實現を見ず、之に手を觸るゝに至つて居ない。
但しラヂオ放送開始と共に新聞紙は大なる影響を受けた。先づラヂオ面の新設であり、此ために多
大のスペースを割かれたことであつた。その代りラヂオ器の新聞廣告はどしどし進出し來り、ラヂオ
器に關する新聞廣告は、新聞廣告の新しい資源化して來た。

トキー時代

此年代に於て特筆すべきは、トキーの輸入である。トキーの輸入されたのは昭和四年であり、従
來無聲の映畫界は此のトキーに依つて一大衝動を興へられ、日本のスクリーン界も亦國産をもつてト
キーの映寫を製作することに努力する事となり、ホンの僅少なる期日間に無聲は全然スクリーンより
影を潜めて、トキー時代を出現してしまつた。而してそれは單に映畫界の一大變革に止まらずして、
一種の社會問題化したほどで、即ち無聲時代の辯士を如何にすべきかと言ふ事態が発生したのであつ
た。

東寶劇場東京に進出

トキーの發明は、スクリーン界を豪華時代に導くと共に、昭和時代に於て東寶劇場の東京進出は、東京
の新聞廣告に一大變化を與ふるものであつた。東寶の東京進出は先づ日比谷界限をして、純然たる享
樂街たらしめ、市民は比較的低廉なる見料を以て、その慰安を買ふことが出來た。のみならず、之に依り
て與えられた新聞廣告の光彩は異常のものであり、映畫廣告、觀劇廣告に、紙上は常に百華燎亂として咲

き亂るの觀を呈した。

日支事變の勃發

昭和時代稍進みたる頃滿洲事變が勃發し、滿洲國が生れ、昭和七年九月帝國の承認を見た。而して、昭和五、六、七、八の四ヶ年間極度の疲弊を見た經濟界も、昭和九年に至つて、稍生色を見るに至つた。

年	純益金指數	純損金指數
昭和二年	一〇〇	一〇〇
同 三年	一〇五	七九
同 四年	一〇三	七九
同 五年	八三	九四
同 六年	六七	八二
同 七年	七五	六〇
同 八年	九九	四二
同 九年	一一一	四五
同 十年	一三七	三三
同 十一年	一五三	三五
同 十二年	一八二	三三

此くして我經濟界に復活の曙光を生じた時に、昭和十二年日支事變の勃發を見たのである。此事變

については政府も國民も最初から長期戦である事を覺悟してかゝつた。その決心の現はれとして消費の節約が頻りに呼ばれ、貯蓄奉仕の勸奨が大に行はれ、物資の統制、爲替管理資金調整等によつて従來の自由計畫に對し、大に制限壓迫が加はつた。併し跛行的ではあつたが、軍需品景氣が一種のインフレを惹起し、一般經濟界は不景氣と言ふよりも、好景氣に感ずるものが多く、特に昭和十四年の九月に至つて、獨逸のダンチツヒ返還要求を動機とし、歐洲第二次大戰の勃發するあり、その餘波を受けて我經濟界は一步を過まる時には、取返し附かぬ危險に陥る、重大なる機會に遭遇したのであつた。

尙新聞事業に携はるものとして、一大影響を受けたことは、バルブの拂底に依る新聞用紙の統制とその供給減である。そのために各新聞社の頁數は減縮を餘儀なくされ、紙幅の減少に伴い、廣告掲載量も亦漸減を示すに到つた。新聞社はその減行を廣告單價の引上に依つて埋合はすために、廣告料金の引上が頻々とは行はれ、之がため政府の一角では引上禁止策を講じては如何との議さへ行はれた程であつた。尙減行の打撃は大新聞ほど多かつたが、そのため大新聞に載せ切れない廣告を、それ以下の新聞に廻したものが多く、殊に東京、大阪の新聞に載せられるに止まる廣告も、此場合勢い地方の新聞に掲載せざるを得ない狀況となり、地方の新聞に在つては、却つて行數の増加したのも多かつた。